



Ultra Wide SCSI Card Bus PC Card

REX-CB32

ユーザーズマニュアル



2002年 6月

第 2.0 版

 **RATOC**
Systems, Inc.
ラトックシステム株式会社

目次

はじめに	4
ご注意	4
安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	5
本文中の記号説明	5
製品の特徴	7
対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)	7
梱包品について	8
SCSI 機器の接続形態について	9
添付のソフトウェアについて.....	11
REX-CB32 の使用形態について	12
常時 REX-CB32 を装着する	12
必要時 REX-CB32 を装着する	13
使用上での制限.....	14
製品に関するお問い合わせ	15
2. Windows XP での REX-CB32 のインストール	17
インストールの流れ.....	17
REX-CB32 の装着	18
新しいハードウェアの検出ウィザード	19
ドライバインストールの確認.....	20
SCSI ユーティリティのインストール.....	22
REX-CB32 PC カードの取り外し.....	24
3. Windows 2000 での REX-CB32 のインストール	26
インストールの流れ.....	26
REX-CB32 の装着	27
新しいハードウェアの検出ウィザード	28
ドライバインストールの確認.....	30
SCSI ユーティリティのインストール.....	32
REX-CB32 PC カードの取り外し.....	34
4. Windows Me での REX-CB32 のインストール.....	36
インストールの流れ.....	36
REX-CB32 の装着	37
新しいハードウェアの追加ウィザード	38
ドライバインストールの確認.....	39
SCSI ユーティリティのインストール.....	41
REX-CB32 PC カードの取り外し.....	43
5. Windows 98 での REX-CB32 のインストール.....	45
インストールの流れ.....	45

目次

REX-CB32 の装着	46
新しいハードウェアの追加ウィザード	47
ドライバインストールの確認.....	49
SCSI ユーティリティのインストール.....	51
REX-CB32 PC カードの取り外し.....	53
6. Windows 95 での REX-CB32 のインストール.....	55
インストールの流れ.....	55
PC カードコントローラの確認.....	56
REX-CB32 の装着	58
デバイスドライバウィザード.....	59
ドライバインストールの確認.....	60
SCSI ユーティリティのインストール.....	62
REX-CB32 PC カードの取り外し.....	64
7. SCSI 機器の接続	66
接続方法の流れ.....	66
PC カードと SCSI ケーブルの接続.....	67
SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続.....	68
REX-CB32 の装着と機器確認.....	70
8. SCSI ユーティリティについて	72
フォーマットユーティリティ.....	72
SCSI 機器接続確認ユーティリティ	76
SCSI コンフィギュレーションユーティリティ.....	78
プログラム起動方法.....	78
コンフィギュレーション画面	79
9. 起動ディスク(DOS)での REX-CB32 使用について	80
Windows 98 起動ディスクの編集.....	80
Windows 95 起動ディスクの編集.....	81
Drive Image 起動ディスクの編集.....	82
SCSI CD-ROM を利用する	83
SCSI DVD-RAM を利用する	83
CBENABLE.EXE のパラメタ	84
ASPCB32.SYS のパラメタ	84
REXCD.SYS のパラメタ	85
REXDISK.SYS のパラメタ	86
10. トラブルシューティング.....	89
REX-CB32 の WindowsMe/98/95 ドライバを完全削除するには.....	89
Windows Me でドライバ更新する場合	91

目次

Windows 98 でドライバ更新する場合.....	93
Windows 95 でドライバ更新する場合.....	96
REX-CB32 の WindowsXP/2000 ドライバを完全削除するには	98
Windows XP でドライバ更新する場合.....	99
Windows 2000 でドライバ更新する場合.....	102
TOSHIBA 製ノートパソコンの場合.....	106
FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合	106
ドライブが割り当たらない場合.....	107
その他のデバイスに ? PCMCIA Card Services がある場合	107
その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合.....	107
その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合.....	108
PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合	108
UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合.....	108
不明なデバイスが検出されると表示の場合	109
フォーマットユーティリティで CDR,CDRW,DVD が認識されない	109
SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される	109
Windows 98/95 が終了できない場合.....	110
11. SCSI 仕様について	111
接続できる台数とケーブルの長さ.....	111
接続可能な SCSI 機器のタームパワー供給能力について	112
SCSI 機器のターミネータ電源供給の確認方法	112
SCSI PC カードの仕様	113

はじめに

このたびは REX-CB32 Ultra Wide SCSI Card Bus PC カードお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この製品は高速転送インターフェースをノートパソコンで実現できるように設計された Card Bus スロット専用の SCSI PC カードです。今後もドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-CB32の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-CB32を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。特に5ページより記載しています「安全にお使いいただくために必ずお読みください」は、最初にお読みください。

また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。



ご注意

- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- ・ 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- ・ 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・ SmartSCSIとはInitio Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ ASPIマネージャ、miniportドライバの著作権は、Initio Corporationにあります。
- ・ MS-DOS、Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により、本商標の使用を認められています。
- ・ 本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 本製品のハードウェアおよびソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザーズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味は次のようになっています。内容を理解してからお読みください。

本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



 分解禁止：発火のおそれがあります

PC カードや添付ケーブルの分解や改造等は絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものをのせることは行わないでください。発火のおそれがあります。



PC カードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。

誤動作や故障するおそれがあります。



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



PC カードや添付ケーブルが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。

必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

第 1 章 REX-CB32 について



PC カードの形状は、CardBus 対応の PC カードスロットに適合しており、従来の 16 ビット PC カードと異なります。CardBus に対応していない PC カードスロットに誤って無理に装着すると、パソコン本体や PC カードが故障するおそれがあります。誤って無理に挿入しないでください。



ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。



保管に関するご注意：

本製品を保管する場合、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

- ◆ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、温度差の激しい場所
- ◆ チリやほこり、湿気の多い場所
- ◆ 振動や衝撃の加わる場

製品の特徴

- ・ Card Bus インターフェース上で動作する Ultra Wide SCSI PC Card です。
- ・ パソコンとの転送は 32bit データバス、33MHz バスクロック、バスマスタ転送方式により最高 132MB/sec の転送を行います。
- ・ SCSI 機器との転送は同期転送で最高 40MB/sec の転送を行います。(UltraWideSCSI での転送時)
- ・ 高速化の技術でマルチタスク、マルチスレッド、スキヤッタギャザー、ディスコネクト/リコネクトをサポートしています。
- ・ 高密度 68 ピン Ultra Wide SCSI ケーブルと高密度 50 ピン Ultra SCSI ケーブルを用意することにより、幅広い種類の SCSI 機器に対応しています。

対応パソコンと対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は、PC Card Standard '95 規格以降の CardBus PC カードスロットを装備しているパソコンに対応しています。

また、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

オペレーティングシステム	DOS/Vパソコン	NEC PC98-NX
Windows 95B, 95C	対応	対応
Windows 98 (Second Editionを含む)	対応	対応
Windows Me	対応	対応
Windows 2000	対応	対応
Windows XP	対応	対応
DOS/Windows 3.1	未対応 1	未対応 1

1 : Windows98/95起動ディスクのDOSモードについては一部サポートしております。

一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社ホームページ(<http://www.ratocsystems.com>)でご確認頂くか、弊社サポートセンターに直接ご確認ください。

梱包品について

REX-CB32には以下のものが梱包されています。

不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

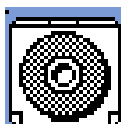
PC カード



保証書 (注 3)



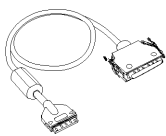
Setup CD-ROM 1 枚



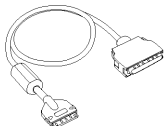
ユーザズマニュアル (本書)



SCSI 専用ケーブル 2 本 (注 1)(注 2)



高密度 68 ピン Ultra Wide SCSI ケーブル



高密度 50 ピン Ultra SCSI ケーブル

(注1) カード側接続コネクタの厚みによる物理的制限があるため以下の点をご確認ください。

他の PC カードと同時に装着できない場合があります。

上側スロットへ装着できない場合があります。

(注2) SCSI ケーブルの長さとともに 50cm で SCSI 機器側コネクタは、1 本がハーフピッチピンタイプ 68 ピンコネクタでもう 1 本がハーフピッチピンタイプ 50 ピンコネクタです。

なお、コネクタ形状が異なる SCSI 機器に接続する場合は、一度ハーフピッチピンタイプ 50 ピンコネクタの SCSI 機器に接続し、そこから変換ケーブルをご使用ください。

他社製 SCSI PC カード用の SCSI ケーブルは、コネクタの形状等が同一であっても配線が異なりますので絶対に使用しないでください。

弊社製 SCSI PC カード用の SCSI ケーブルはこの機種に限り異なります。REX-R231 シリーズ、REX-9530 シリーズ、REX-xx36、REX-xx55 のケーブルは使用できません。ケーブルを破損した場合、次の型番で購入できます。

RCL-3105-05 …… 高密度 68 ピン Ultra Wide SCSI ケーブル 50cm

RCL-3103-05 …… 高密度 50 ピン Ultra SCSI ケーブル 50cm

(注3) 保証書は必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

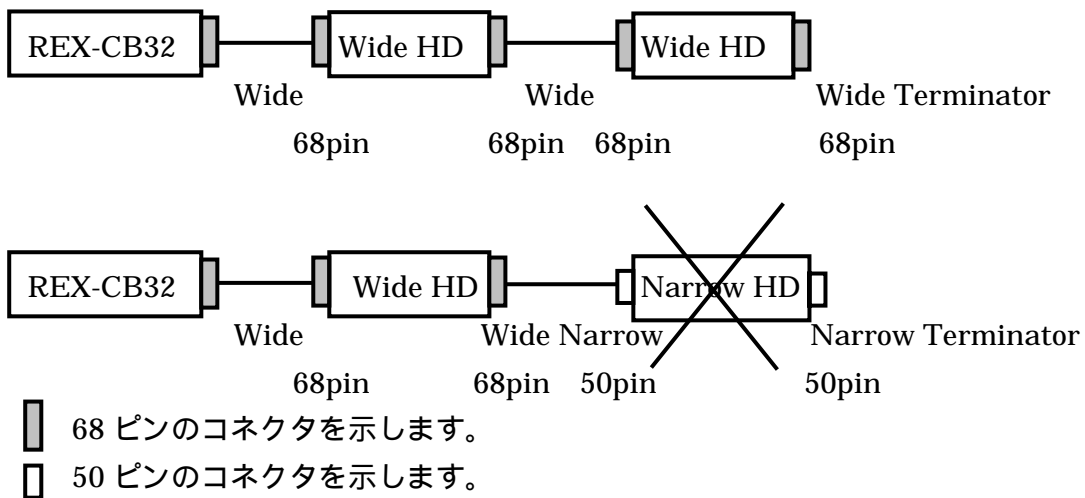
SCSI ターミネータは添付しておりません。必要に応じてお買い求めください。

SCSI 機器の接続形態について

本製品には²本のケーブルが含まれます。それぞれのケーブルを使用した場合の接続形態について説明します。

[高密度68ピンUltra Wide SCSIケーブル]

- Ultra Wide SCSI ハードディスクユニットに接続します。
これ 1 台の場合、反対側のコネクタにターミネータを取り付けます。
- さらに Ultra Wide SCSI ハードディスクユニットに接続できます。
68 ピン 50 ピン変換ケーブルを使って Ultra SCSI ハードディスクユニットに接続できません。

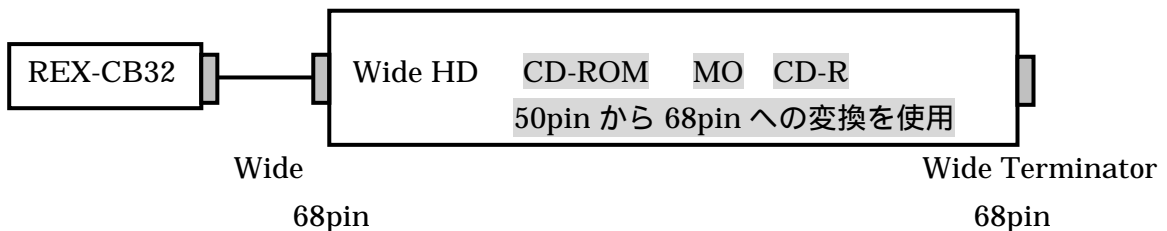


Wide 機器の後ろに Narrow 機器を接続できません。

たとえば、外付け Wide HD の後ろに 68 ピン 50 ピン変換ケーブルを使って CD-ROM、MO 等を接続できません。しかし、ターミネータ付き 68 ピン 50 ピン変換ケーブルを使用すれば問題ありません。

Wide の機器と Narrow の機器を混在させるには、SCSI BOX の使用をお勧めします。

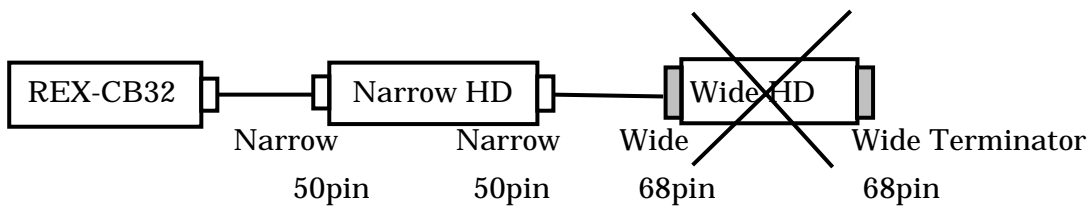
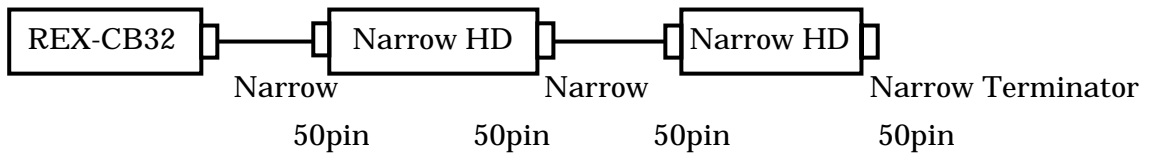
SCSI BOX 68 ピン Wide タイプ



第 1 章 REX-CB32 について

[高密度50ピンUltra SCSIケーブル]

- Ultra SCSI ハードディスクユニットに接続します。
これ 1 台の場合、反対側のコネクタにターミネータを取り付けます。
- さらに Ultra SCSI ハードディスクユニットに接続できます。



Narrow 機器の後ろに Wide 機器を接続できません。

たとえば、CD-ROM MO 等の後ろに 68 ピン 50 ピン変換ケーブルを逆に使って Wide HD を接続できません。

添付のソフトウェアについて

本製品に添付のCD-ROMには次のソフトウェアが含まれます。

【 Windows Me/98/95 用 】

- Windows Me/98/95 用 SCSI ミニポートドライバ(REXCB32.MPD)

【 DOS 用(Windows98/95起動ディスク用) 】

- CardBus カード用ポイントインナーブラ(CBENABLE.EXE)
- DOS/V 用 ASPI マネージャ(ASPCB32.SYS)
- ディスクドライバ(REXDISKW.SYS)
- CD-ROM ドライバ(REXCD.SYS)
- ハードディスク / 光磁気ディスク用フォーマッタ(REXFMTW.EXE)
- 接続 SCSI 機器確認ユーティリティ(SSCW.EXE)
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ(SCUINICD.EXE)

【 WindowsXP/2000用 】

- Windows XP/2000 用 SCSI ミニポートドライバ(REXCB32.SYS)
- 32bit 版 ASPI マネージャ (WNASPI32.DLL)

【 WindowsXP/2000/Me/98/95 共通用 】

- ハードディスク / 光磁気ディスク用フォーマッタ 1
- SCSI 機器接続確認ユーティリティ 1
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ 1

1 : SCSIユーティリティのインストールを行わないと実行できません。

CD-ROM内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内のREADMEファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

第 1 章 REX-CB32 について

REX-CB32 の使用形態について

REX-CB32 のドライバインストール後の使用形態は、以下の 2 つの場合に別れます。

常時 REX-CB32 を装着する

デスクトップパソコンのように常時 SCSI PC Card REX-CB32 を装着したままにする場合です。

必要時 REX-CB32 を装着する

SCSI 機器を必要とするときのみ REX-CB32 をパソコンに装着し、必要がなくなれば取り外す場合です。

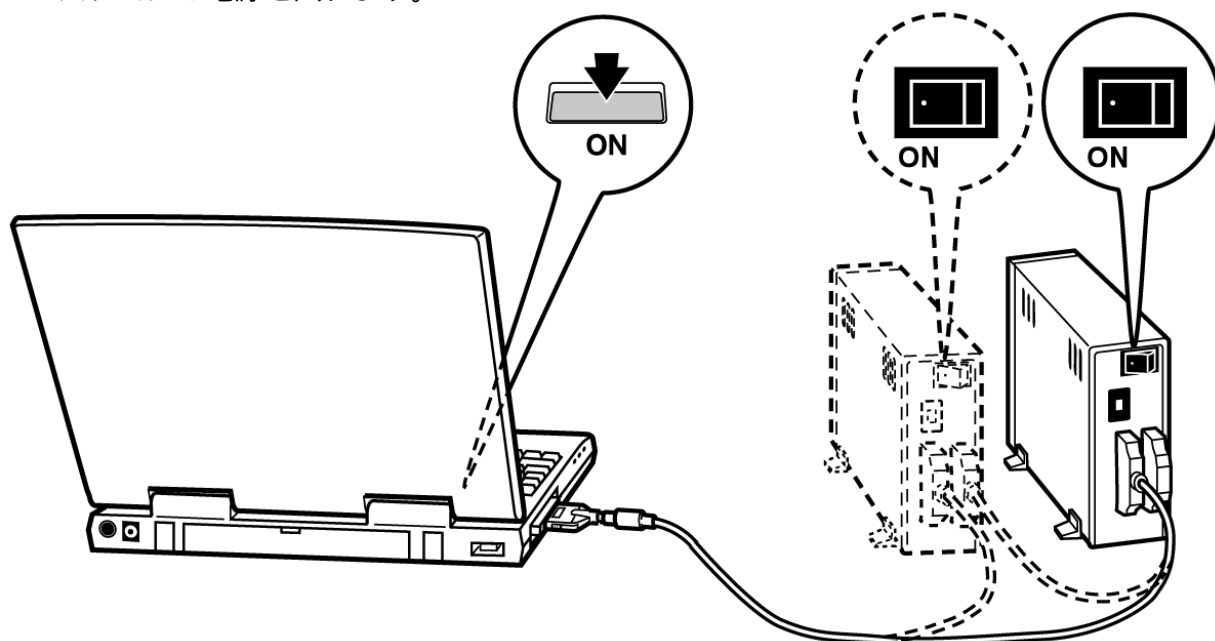
これら 2 つの使用形態の使用手順を説明致します。

常時 REX-CB32 を装着する

デスクトップパソコンと同様、パソコン電源 ON 時 SCSI 機器のすべての電源を ON にしなければなりません。パソコン使用中に SCSI 機器の電源を入れても認識しません。また、接続されている SCSI 機器の電源はすべて入れてください。

手順: 開始するとき

1. 接続されている SCSI 機器の電源を入れます。
2. パソコンの電源を入れます。



この例では、SCSI 機器が 1 台または 2 台の場合を示します。

手順: 終了するとき

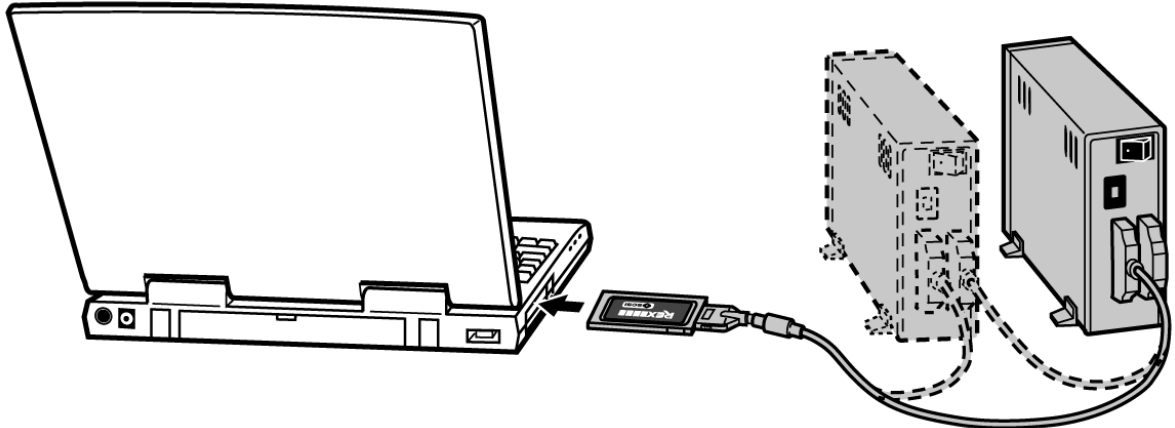
1. パソコンの電源を切ります。
2. SCSI 機器の電源を切ります。

必要時 REX-CB32 を装着する

SCSI 機器が必要なときだけ使用することができます。
パソコンの電源は常時 ON として説明します。

手順:SCSI 機器の使用を開始するとき

- 1 . SCSI 機器と REX-CB32 を添付のケーブルで接続します。
- 2 . 複数台 SCSI 機器が接続されている場合すべての電源を ON にします。
- 3 . 稼動しているパソコンの PC カードスロットに REX-CB32 をゆっくり装着します。



4 . HD/MO/CD-ROM が接続されている場合、マイコンピュータにドライブのアイコンが表示されます。

CD-R については、対応する書き込みソフトウェアがインストールされていないと表示しない場合があります。DVD については、まず CD-ROM のアイコンのみ表示されます。DVD-RAM については、対応するソフトウェアをインストールする必要があります。

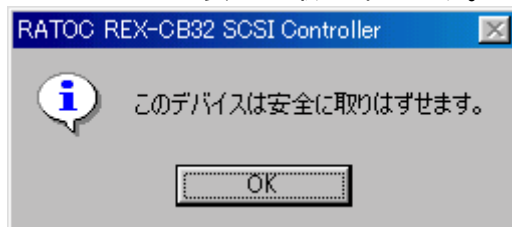
手順:SCSI 機器の使用を終了するとき

- 1 . SCSI 機器へのアクセス（読み書き）を終了します。
- 2 . タスクバーにある PC カードのアイコンをクリックし中止します。



Windows 98/95

- 3 . このデバイスは安全に取り外せます。と表示されれば REX-CB32 を抜いてください。



- 4 . SCSI 機器の電源を切ります。
REX-CB32とSCSIケーブルは外さないでください。

使用上での制限

- ・ REX-CB32 側の SCSI ケーブル接続コネクタの厚みによる物理的制限があるため以下の点にご注意ください。

他の PC カードと同時に装着できない場合があります。

上側スロットへ装着できない場合があります。

- ・ SCSI PC カードに接続する機器は、原則としてタームパワー供給機能を持った SCSI 機器に限られます。複数の機器を接続する場合は、そのうちの 1 台からタームパワーが供給できれば問題ありません。タームパワーが供給されているか不明な場合は、各 SCSI 機器メーカーにお問い合わせください。

例外としてzipドライブ、MD DATAドライブでは、タームパワーは出力されていませんが、本製品へ接続しても問題ありません。

- ・ SCSI PC カードに接続された機器からのシステムの起動（ブート）はできません。
- ・ SCSI PC カードに接続されたディスクへオペレーティングシステムをインストールすることはできません。
- ・ SCSI PC カードに接続されたハードディスクや MO に対して FDISK コマンドによるフォーマットはできません。また、DISK-BIOS（INT 1Bh や INT 13h）を直接呼び出して動作するソフトによる操作もできません。添付ソフトウェアのフォーマッタをご使用ください。
- ・ SCSI PC カードに接続されたハードディスクや MO に対して Windows のスワップファイルを設定しないでください。
- ・ SCSI PC カードに接続された CD-ROM ドライブで音楽 CD を再生する場合、その音声はパソコン本体の内蔵スピーカからは出力されません。CD-ROM ドライブのライン出力またはヘッドフォン端子から出力されます。
- ・ Windows の DOS モードは原則としてサポートしておりません。
- ・ SCSI PC カードに複数の SCSI 機器を接続する場合は、ケーブルの総延長が 1.5m を越えないようにしてください。また、接続する機器にもよりますが接続台数はできるだけ 2 台を越えないようにしてください。
- ・ PC カードスロットが 1 スロットのみでフロッピーディスクドライブが PC カード接続のパソコンでは、直接フロッピーディスクからのドライバのインストールはできません。
- ・ SCSI PC カードを装着したまま、パソコンをスリープにする時 SCSI 機器の電源を切ることにはできません。SCSI 機器の電源を切る場合、SCSI PC カードを取り外してから電源を切って、パソコンをスリープにしてください。

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社
サポートセンター
TEL 0120-033555(SCSI専用 Free Dial)
月～金 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜、日曜および祝日を除く
FAXでの受付は24時間行っております。
FAX 06-6633-3553
〒556-0012
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

インターネットのホームページでも受け付けております。

ラトックシステムのホームページ
<http://www.ratocsystems.com/>

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。また、インターネットでのご質問時には、Setup Disk 内の quest.txt の書式をご利用ください。

ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

これまでは、概要を説明してきました。
具体的に、これからドライバのインストールを行います。

Windows XP での REX-CB32 のインストール (P17)
Windows 2000 での REX-CB32 のインストール (P26)
Windows Me での REX-CB32 のインストール (P36)
Windows 98 での REX-CB32 のインストール (P45)
Windows 95 での REX-CB32 のインストール (P55)
へ進みます。



2. Windows XP での REX-CB32 のインストール

ここでは、すでに Windows XP が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

XP

インストールの流れ

インストールの流れを以下に示します。

使用上での制限事項の確認 P14

実際の作業を行う前に確認しておいてください。



REX-CB32 の装着 P18

インストール作業は、PC カードをパソコンの PC カードスロットへの装着から始まります。



デバイスドライバウィザード P19

PC カードを動作させるためのドライバ(ソフトウェア)を組み込む作業です。



ドライバインストールの確認 P20

ドライバの組み込みが正しく完了したか確認する作業です。



SCSI ユーティリティのインストール P22

REX-CB32 を有効に使うためのソフトウェアを組み込む作業です。



REX-CB32 PC カードの取り外し P24

SCSI 機器を接続する前に、一度 REX-CB32 を取り外します。



PC カードと SCSI ケーブルの接続 P67

先に REX-CB32 と SCSI ケーブルを接続します。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

P68

REX-CB32 と接続した SCSI ケーブルを SCSI 機器に接続します。



REX-CB32 の装着と機器確認

P70

最後に、REX-CB32 と SCSI ケーブルと SCSI 機器の一体をパソコンに接続（ドッキング）します。



SCSI 機器へのアクセス

REX-CB32 の装着

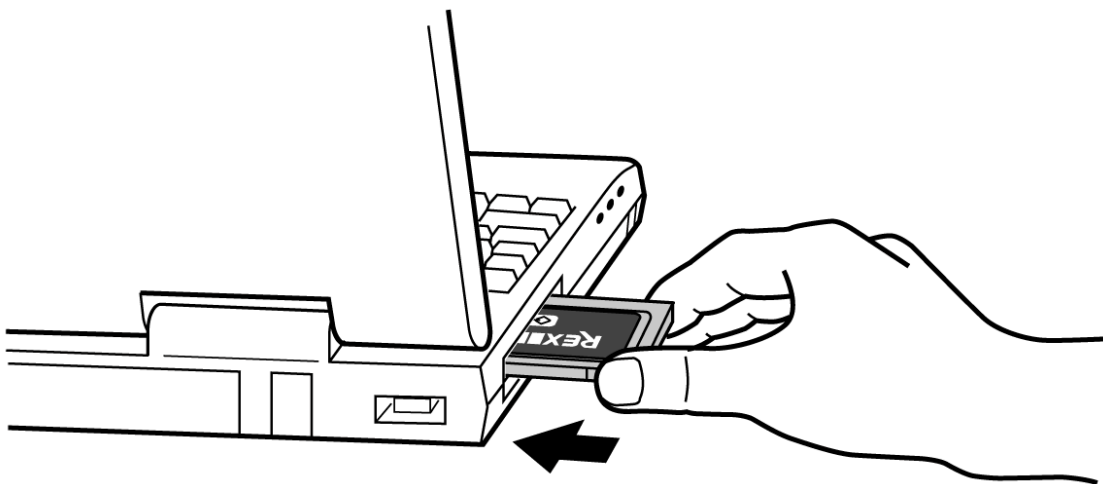
パソコン本体に添付のマニュアルに従って REX-CB32 を PC カードスロットに装着してください。

PC カードスロットに他の PC カードがある場合、その PC カードを取り外します。

インストール時に限り SCSI ケーブルの装着はしないで、PC カードを装着します。

Windows XP が起動されている状態で、PC カードの「REX-CB32」と表記されている面を上にしてゆっくりと水平に挿入します。

カード挿入時、最後まで挿入できない場合、無理に差し込まないでください。無理に押し込むと PC カードおよびパソコン本体の PC カードスロットを破損するおそれがあります。



装着しても以降に示す作業が開始されない場合、パソコン本体が Card Bus に対応していない場合があります。一度カードを抜きパソコン本体が、Card Bus に対応しているか確認してください。詳細は、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

新しいハードウェアの検出ウィザード

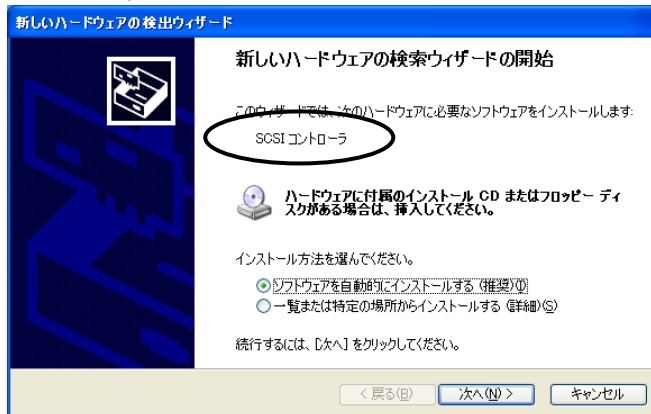
以下の作業が自動的に開始されます。以前にこのインストールをおこなったが、途中で失敗し再度インストールを行いたい場合、トラブルシューティングの「REX-CB32 ドライバの完全削除するには (P98)」の項目を行ってください。

コントロールパネルのハードウェアウィザードを起動しても正しくインストールすることはできません。

XP

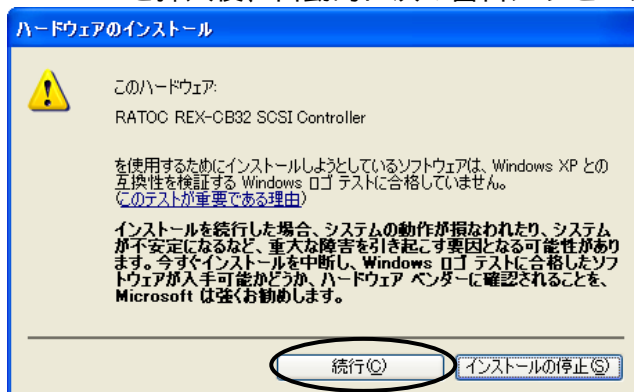
1. デバイスドライバウィザードの画面が表示されます。

デバイスドライバウィザードが起動され REX-CB32 を SCSI コントローラとして認識します。



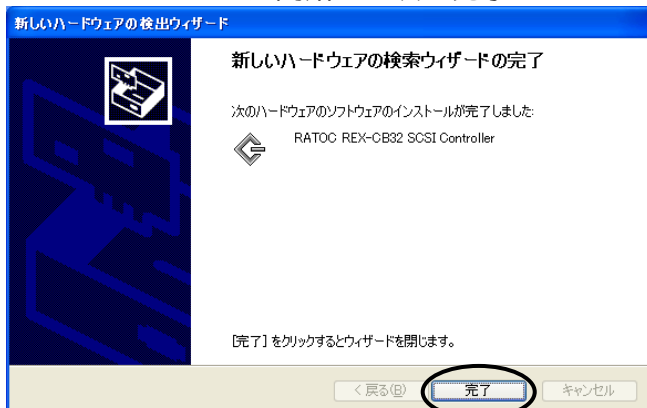
ここで本製品に添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしそのまましばらく、お待ち下さい。

2. CD-ROM を挿入後、自動的に次の警告メッセージが表示されます。



「続行」を選択してください。

3. ドライバのコピーが開始され次の完了メッセージが表示されます。



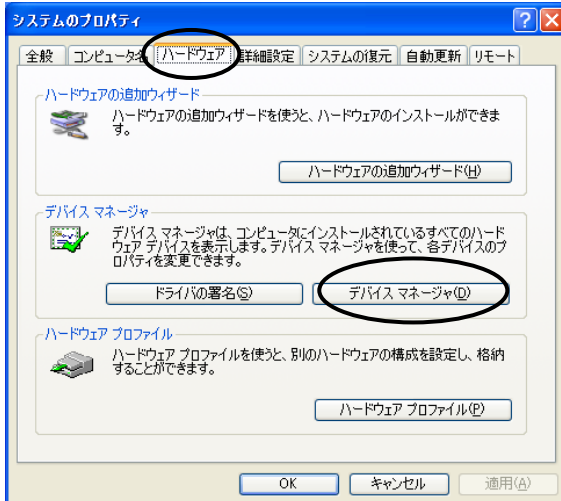
「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」と表示されたら、「完了」を押してください。

ドライバインストールの確認

ドライバインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。

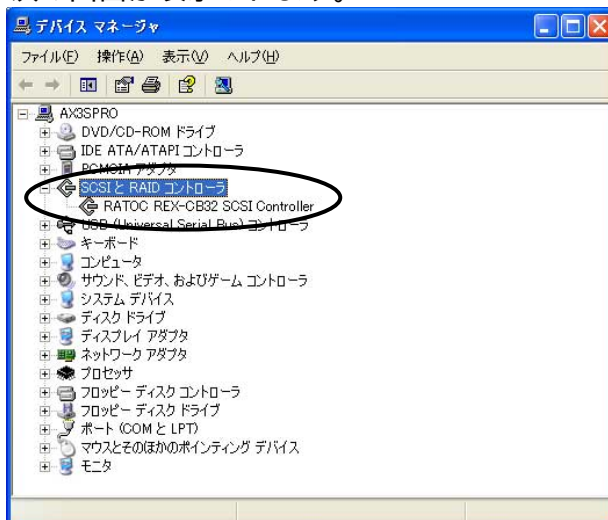
ここでの確認は、パソコン上で REX-CB32 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムを開きハードウェアタブをクリックします。



デバイスマネージャボタンをクリックします。

2. 次の画面が表示されます。



SCSI と RAID コントローラをダブルクリックし、「RATOC REX -CB32 SCSI Controller」と表示されていることを確認します。

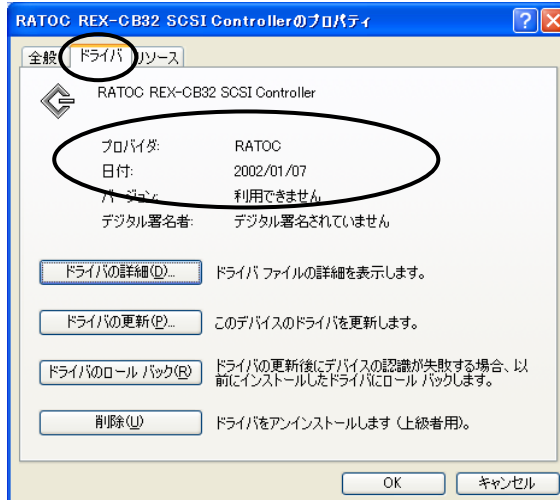
そのほかにも、アダプタが表示されることもありますが、関係ありません。RATOC REX-CB32 SCSI Controller をダブルクリックし「プロパティ」を表示します。

3. 全般のタブを表示します。



「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。エラーがある場合、「デバイスの状態」に、エラーの内容が表示されます。

4. ドライバのタグを表示します。



製造元、日付を確認しておきます。

XP

5. リソースのタグを表示します。

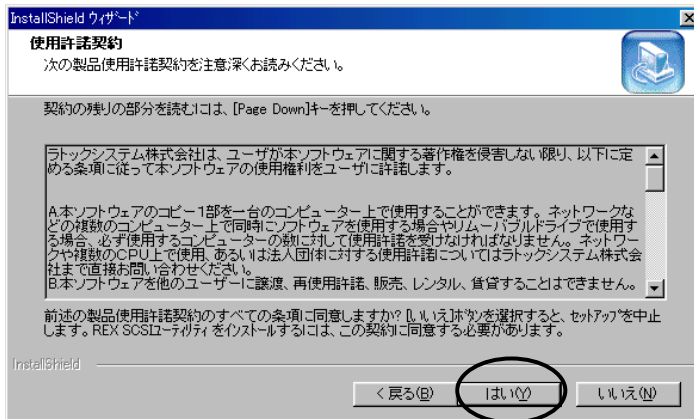


割り込み要求 (IRQ)、メモリの範囲、I/O の範囲 が割り当たって、競合するデバイスがないことを確認します。

SCSI ユーティリティのインストール

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器確認、SCSI コンフィギュレーションユーティリティのインストールを行います。

1. 添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 使用許諾契約に問題がなければ、[はい]をクリックします。
4. インストール先の選択画面が表示されます。通常、そのまま構いません。
[次へ]をクリックします。
5. セットアップタイプを選択する画面で、[標準]を選択してインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。

- I) REXSCSI ユーティリティ
- II) WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000
- III) MO 用補助ドライバ

I) REXSCSI ユーティリティについて:

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器接続確認ユーティリティ、SCSI コンフィギュレーションユーティリティの 3 種類があり、主な機能は次ページのとおりです。

II) WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000 について:

Windows XP/2000 上でのイメージスキャナ、フィルムスキャナの使用で、32 ビット版 ASPI マネージャ (WNASPI32 または WINASPI32) が必要になるスキャナソフトがあります。32 ビット版 ASPI マネージャがスキャナに添付のソフトウェアに含まれていない場合や、スキャナメーカーから提供されていない場合に限り、この 32 ビット版 ASPI マネージャ (WNASPI32.DLL) を組み込んでください。

CD-R/RW用書き込みソフトも32 ビット版ASPI を必要としますが、書き込みソフトのインストールと同時に32ビット版ASPIがインストールされますのでそちらをお使いください。

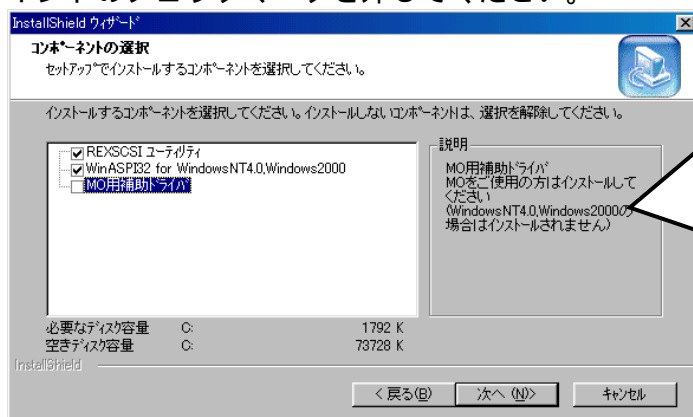
III) MO 用補助ドライバについて:

第 2 章 Windows XP での REX-CB32 のインストール

640Mbyte の MO メディアの Read/Write に失敗する場合に対処するドライバです。

XP

インストールするコンポーネントを選択したい場合、セットアップタイプを選択する画面で、[カスタム]を選択して進み、下記画面にてインストールしないコンポーネントのチェックマークを外してください。



「WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000」あるいは、「MO用補助ドライバ」をインストールしない場合、それぞれのチェックマークを外してください。

6. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REXSCSI ユーティリティ]が追加され、その中に次のユーティリティが追加されます。

フォーマットユーティリティとは：
HD,MO の WINASPI 対応フォーマッタです。
REX-CB32 に接続された HD,MO をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。FDISK 等のプログラムは使用できません。
フォーマットユーティリティ(P72)の説明を参照してください。

SCSI 機器接続確認ユーティリティとは：
REX-CB32 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。
SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。SCSI 機器接続確認ユーティリティ(P76)の説明を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティとは：
REX-CB32 の SCSI 構成情報を変更します。
特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。SCSI コンフィギュレーション(P78)の説明を参照してください。

REX-CB32 PC カードの取り外し


1. SCSI PC カードの取り外し



RATOC REX-CB32 SCSI Controller を安全に取り外します

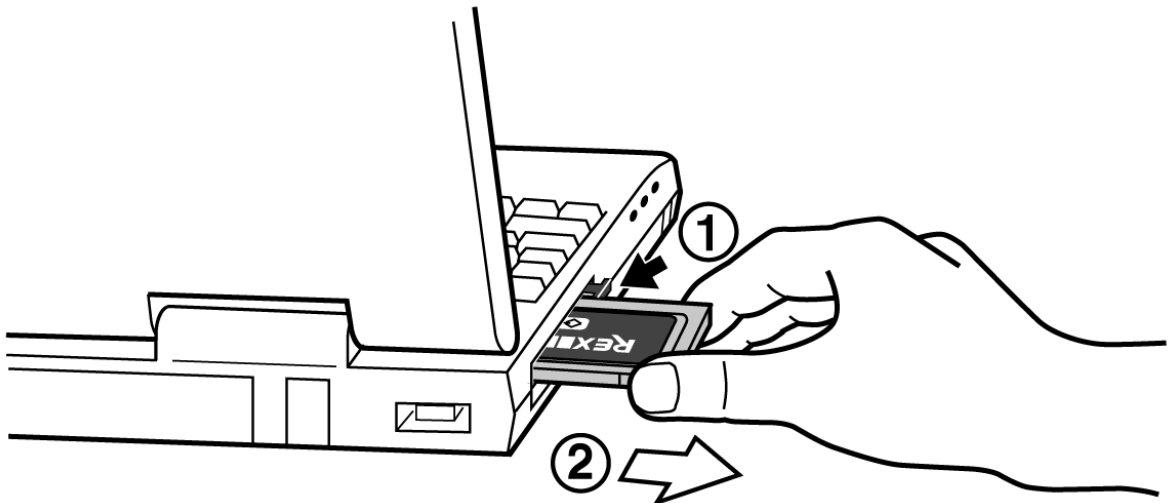
Windows XP のタスクバーにある緑色の矢印のついた PC カードのアイコンを左クリックすると [RATOC REX-CB32 SCSI Controller を安全に取り外します] が表示されますので、それを選択します。

2. 「このデバイスは安全に取り外せます」と表示されます。



ハードウェアの取り外し
'RATOC REX-CB32 SCSI Controller' は安全に取り外すことができます。

その後、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。
でイジェクトボタンを押して、 のように取り出します。



この操作を行わずにいきなり SCSI PC カードを抜いた場合の動作保証はできません。

次は、SCSI 機器を接続しましょう。
SCSI 機器の接続 (P66) へ
お進みください。



3. Windows 2000 での REX-CB32 のインストール

ここでは、すでに Windows 2000 が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

Win
2000

インストールの流れ

インストールの流れを以下に示します。

使用上での制限事項の確認 P14
実際の作業を行う前に確認しておいてください。



REX-CB32 の装着 P27
インストール作業は、PC カードをパソコンの PC カードスロットへの装着から始まります。



デバイスドライバウィザード P28
PC カードを動作させるためのドライバ(ソフトウェア)を組み込む作業です。



ドライバインストールの確認 P30
ドライバの組み込みが正しく完了したか確認する作業です。



SCSI ユーティリティのインストール P32
REX-CB32 を有効に使うためのソフトウェアを組み込む作業です。



REX-CB32 PC カードの取り外し P34
SCSI 機器を接続する前に、一度 REX-CB32 を取り外します。



PC カードと SCSI ケーブルの接続 P67
先に REX-CB32 と SCSI ケーブルを接続します。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

P68

REX-CB32 と接続した SCSI ケーブルを SCSI 機器に接続します。



REX-CB32 の装着と機器確認

P70

最後に、REX-CB32 と SCSI ケーブルと SCSI 機器の一体をパソコンに接続（ドッキング）します。



SCSI 機器へのアクセス

Win
2000

REX-CB32 の装着

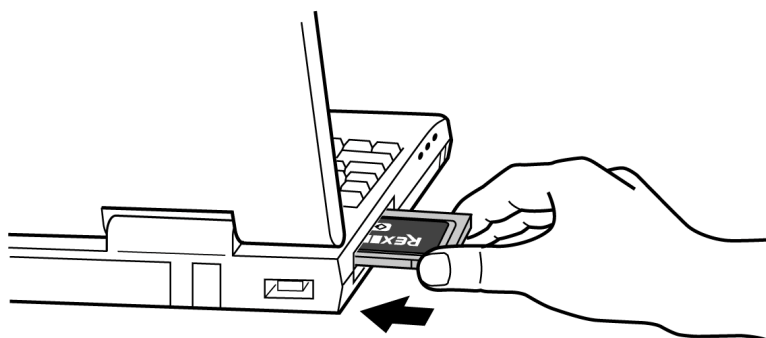
パソコン本体に添付のマニュアルに従って REX-CB32 を PC カードスロットに装着してください。

PC カードスロットに他の PC カードがある場合、その PC カードを取り外します。

インストール時に限り SCSI ケーブルの装着はしないで、PC カードを装着します。

Windows 2000 が起動されている状態で、PC カードの「REX-CB32」と表記されている面を上にしてゆっくりと水平に挿入します。

カード挿入時、最後まで挿入できない場合、無理に差し込まないでください。無理に押し込むと PC カードおよびパソコン本体の PC カードスロットを破損するおそれがあります。



装着しても以降に示す作業が開始されない場合、パソコン本体が Card Bus に対応していない場合があります。一度カードを抜きパソコン本体が、Card Bus に対応しているか確認してください。詳細は、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

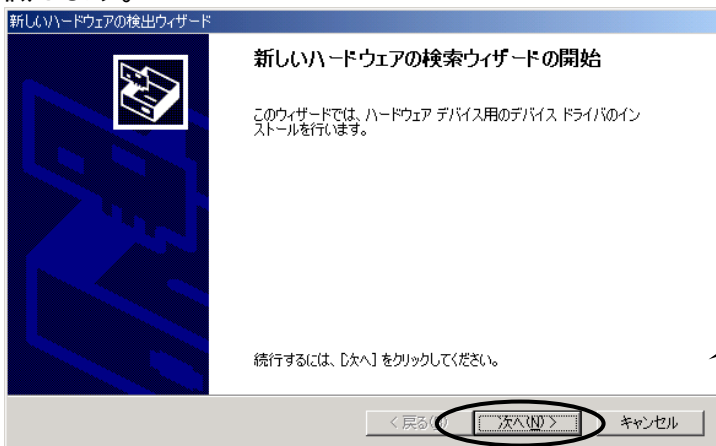
新しいハードウェアの検出ウィザード

以下の作業が自動的に開始されます。以前にこのインストールをおこなったが、途中で失敗し再度インストールを行いたい場合、トラブルシューティングの「REX-CB32 ドライバの完全削除するには (P98)」の項目を行ってください。

コントロールパネルのハードウェアウィザードを起動しても正しくインストールすることはできません。

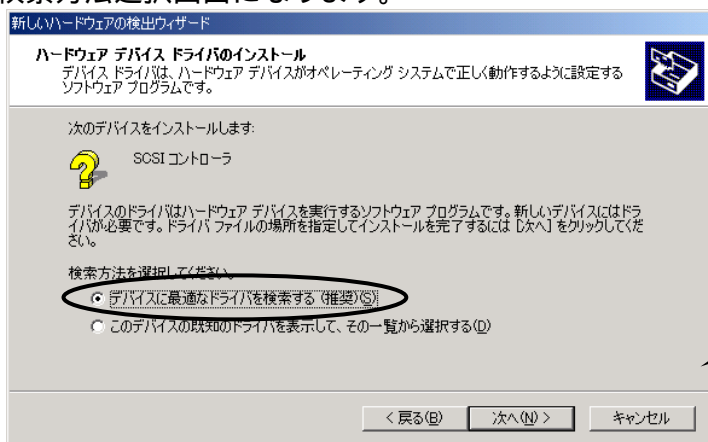
1. デバイスドライバウィザードの画面が表示されます。

デバイスドライバウィザードが起動され REX-CB32 を SCSI コントローラとして認識します。



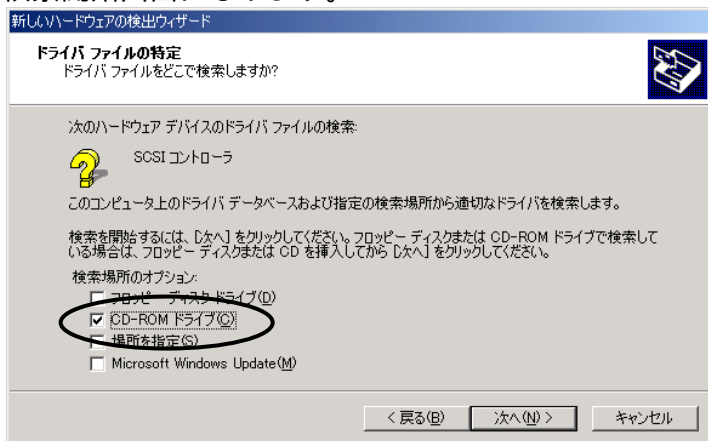
ここで本製品に添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットし「次へ」を押します。

2. 検索方法選択画面になります。



「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」を選択してください。

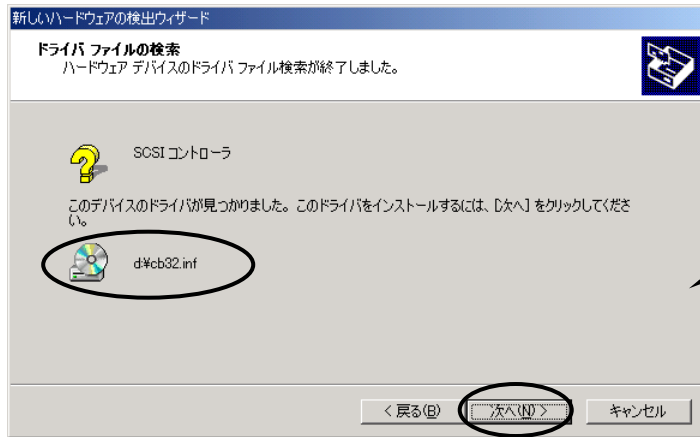
3. 検索開始画面になります。



「 CD-ROM ドライブ」にチェックします。「次へ」を押します。



4. ドライバのインストール確認画面が表示されます。



「次へ」を選択してください。

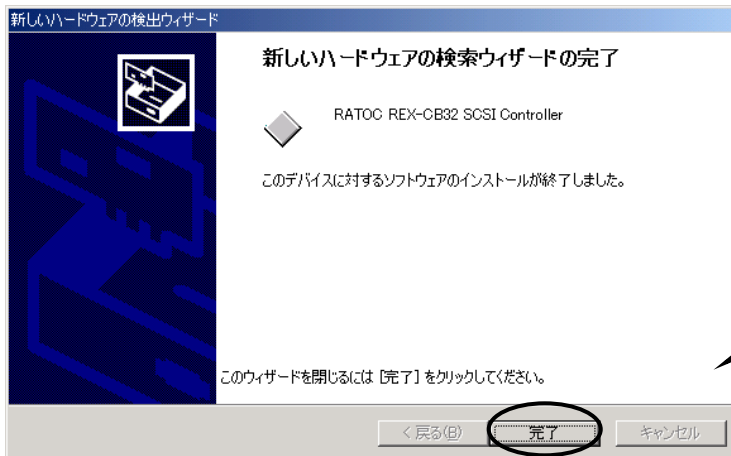
Win
2000

5. 次の警告メッセージが表示されます。



「はい」を押してください。

6. ドライバのコピーが開始され次の完了メッセージが表示されます。



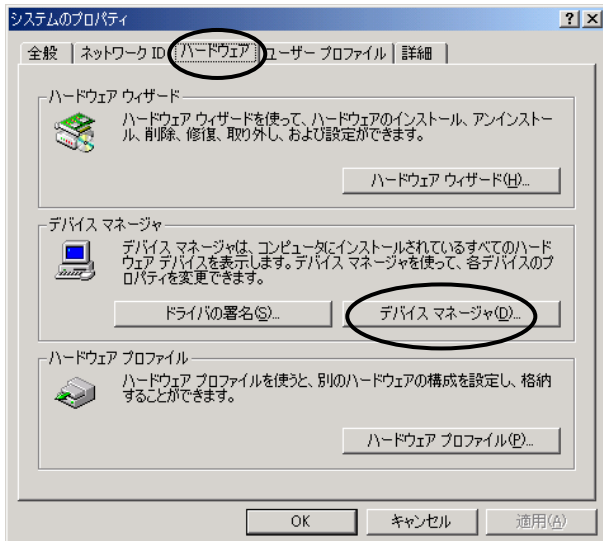
「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」と表示されたら、「完了」を押してください。

ドライバインストールの確認

ドライバインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。

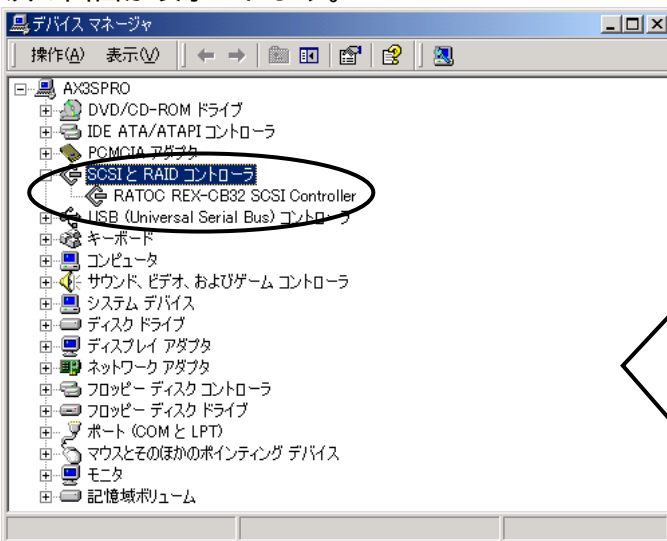
ここでの確認は、パソコン上で REX-CB32 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムを開きハードウェアタブをクリックします。



デバイスマネージャボタンをクリックします。

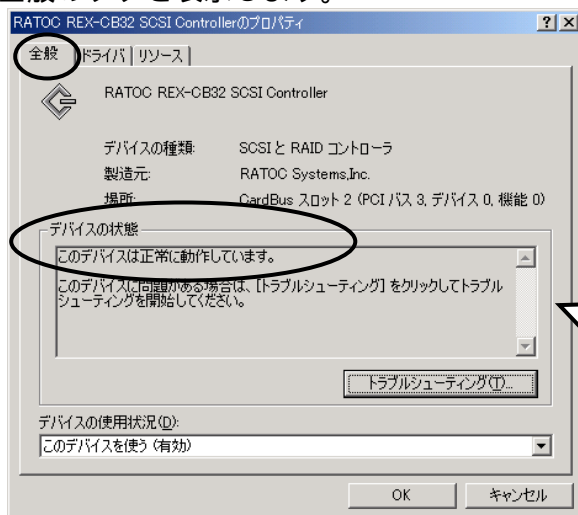
2. 次の画面が表示されます。



SCSI と RAID コントローラをダブルクリックし、「RATOC REX -CB32 SCSI Controller」と表示されていることを確認します。

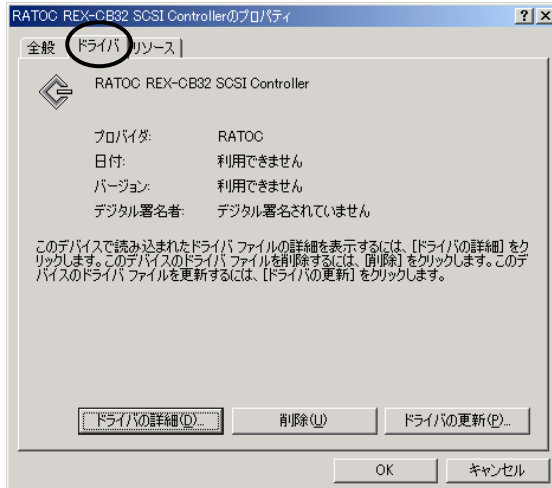
そのほかにも、アダプタが表示されることもありますが、関係ありません。RATOC REX-CB32 SCSI Controller をダブルクリックし「プロパティ」を表示します。

3. 全般のタブを表示します。



「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。エラーがある場合、「デバイスの状態」に、エラーの内容が表示されます。

4. ドライバのタグを表示します。



日付、バージョンの欄に、「利用できません」と表示されますが、これで正常です。

Win
2000

5. リソースのタグを表示します。



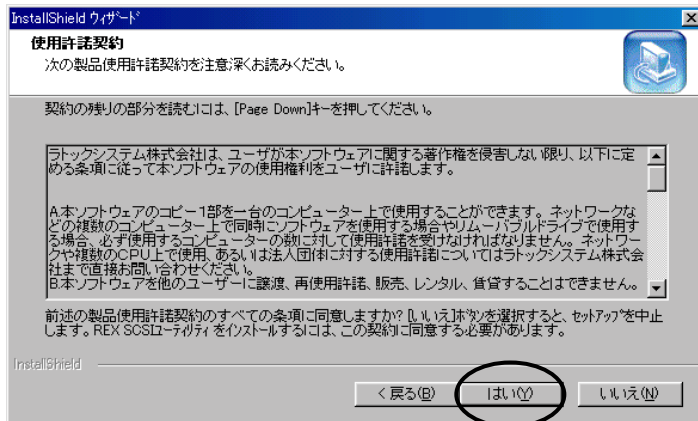
割り込み要求 (IRQ)、メモリの範囲、I/O の範囲 が割り当たって、競合するデバイスがないことを確認します。

競合するデバイスに Card Bus Controller と表示される場合がありますが、正常な状態です。そのまま問題ありません。

SCSIユーティリティのインストール

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器確認、SCSI コンフィギュレーションユーティリティのインストールを行います。

1. 添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 使用許諾契約に問題がなければ、[はい]をクリックします。
4. インストール先の選択画面が表示されます。通常、そのまま構いません。
[次へ]をクリックします。
5. セットアップタイプを選択する画面で、[標準]を選択してインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。
 - I) REXSCSI ユーティリティ
 - II) WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000
 - III) MO 用補助ドライバ

I) REXSCSI ユーティリティについて:

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器接続確認ユーティリティ、SCSI コンフィギュレーションユーティリティの 3 種類があり、主な機能は次ページのとおりです。

II) WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000 について:

Windows XP/2000 上でのイメージスキャナ、フィルムスキャナの使用で、32 ビット版 ASPI マネージャ (WNASPI32 または WINASPI32) が必要になるスキャナソフトがあります。32 ビット版 ASPI マネージャがスキャナに添付のソフトウェアに含まれていない場合や、スキャナメーカーから提供されていない場合に限り、この 32 ビット版 ASPI マネージャ (WNASPI32.DLL) を組み込んでください。

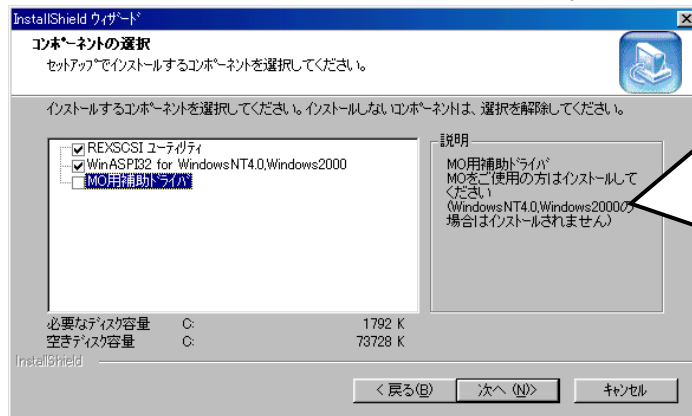
CD-R/RW用書込みソフトも32 ビット版ASPI を必要としますが、書き込みソフトのインストールと同時に32ビット版ASPIがインストールされますのでそちらをお使いください。

III) MO 用補助ドライバについて:

640Mbyte の MO メディアの Read/Write に失敗する場合に対処するドライバです。

インストールするコンポーネントを選択したい場合、セットアップタイプを選択する画面で、[カスタム]を選択して進み、下記画面にてインストールしないコンポーネントのチェックマークを外してください。

Win
2000



「WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000」あるいは、「MO 用補助ドライバ」をインストールしない場合、それぞれのチェックマークを外してください。

6. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REXSCSI ユーティリティ]が追加され、その中に次のユーティリティが追加されます。

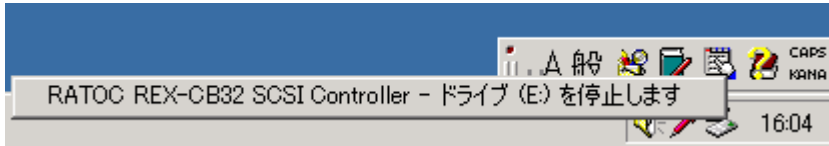
フォーマットユーティリティとは：
HD,MO の WINASPI 対応フォーマッタです。
REX-CB32 に接続された HD,MO をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。FDISK 等のプログラムは使用できません。
フォーマットユーティリティ(P72)の説明を参照してください。

SCSI 機器接続確認ユーティリティとは：
REX-CB32 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。
SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。SCSI 機器接続確認ユーティリティ(P76)の説明を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティとは：
REX-CB32 の SCSI 構成情報を変更します。
特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。SCSI コンフィギュレーション(P78)の説明を参照してください。

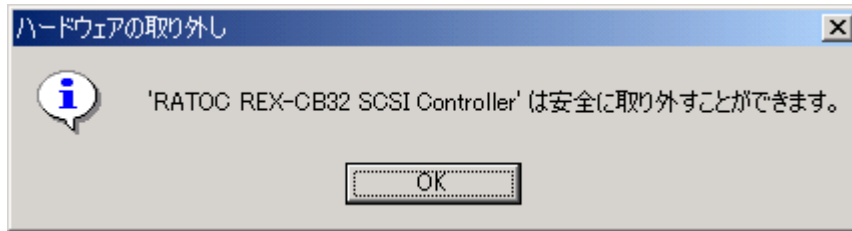
REX-CB32 PC カードの取り外し

1. SCSI PC カードの取り外し

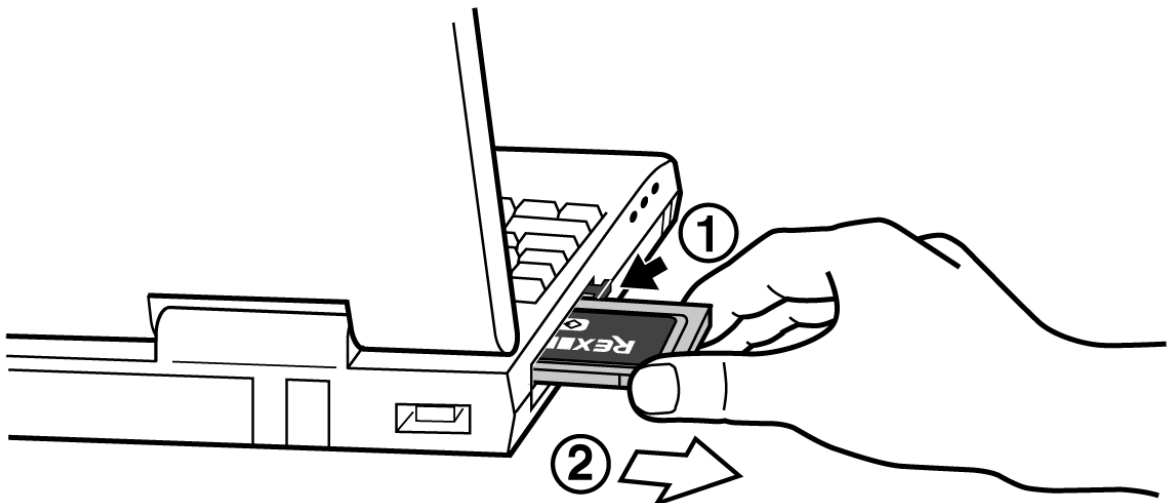


Windows 2000 のタスクバーにある緑色の矢印のついた PC カードのアイコンを左クリックすると [RATOC REX-CB32 SCSI Controller-ドライブ(X:)を停止します] が表示されますので、それを選択します。

2. 「このデバイスは安全に取り外せます」と表示されます。



その後、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。
でイジェクトボタンを押して、 のように取り出します。



この操作を行わずいきなり SCSI PC カードを抜いた場合の動作保証はできません。

次は、SCSI 機器を接続しましょう。
SCSI 機器の接続 (P66) へ
お進みください。



Win
2000

4. Windows Me での REX-CB32 のインストール

ここでは、すでに Windows Me が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

インストールの流れ

インストールの流れを以下に示します。

Me

使用上での制限事項の確認 P14
実際の作業を行う前に確認しておいてください。



REX-CB32 の装着 P 37
インストール作業は、PC カードをパソコンの PC カードスロットへの装着します。



新しいハードウェアの追加ウィザード P38
PC カードを動作させるためのドライバ(ソフトウェア)を組み込む作業です。



ドライバインストールの確認 P39
ドライバの組み込みが正しく完了したか確認する作業です。



SCSI ユーティリティのインストール P41
REX-CB32 を有効に使うためのソフトウェアを組み込む作業です。



REX-CB32 PC カードの取り外し P43
SCSI 機器を接続する前に、一度 REX-CB32 を取り外します。



PC カードと SCSI ケーブルの接続 P67
先に REX-CB32 と SCSI ケーブルを接続します。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

P68

REX-CB32 と接続した SCSI ケーブルを SCSI 機器に接続します。



REX-CB32 の装着と機器確認

P70

最後に、REX-CB32 と SCSI ケーブルと SCSI 機器の一体をパソコンに接続（ドッキング）します。



SCSI 機器へのアクセス

Me

REX-CB32 の装着

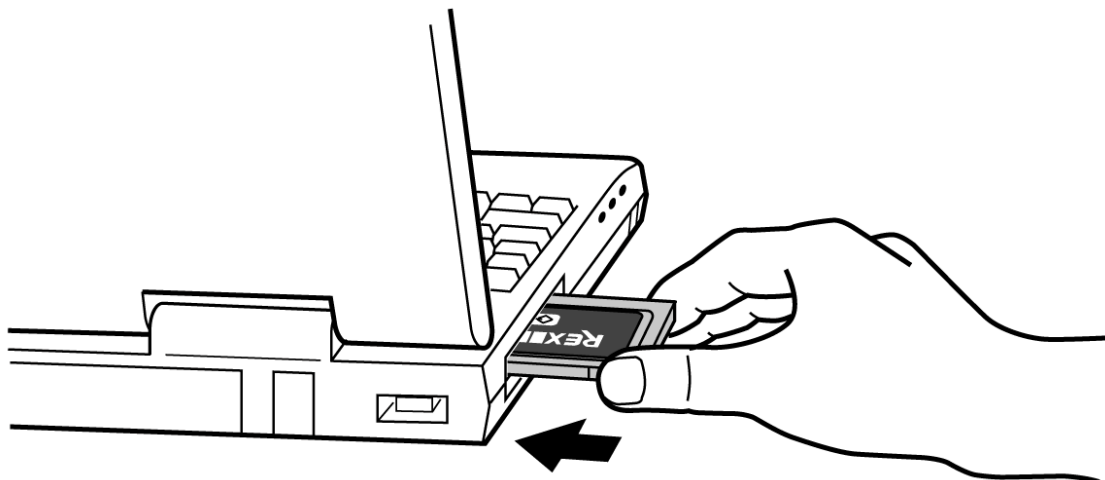
パソコン本体に添付のマニュアルに従って REX-CB32 を PC カードスロットに装着してください。

PC カードスロットに他の PC カードがある場合、その PC カードを取り外します。

インストール時に限り SCSI ケーブルの装着はしないで、PC カードを装着します。

Windows Me が起動されている状態で、PC カードの「REX-CB32」と表記されている面を上にしてゆっくりと水平に挿入します。

カード挿入時、最後まで挿入できない場合、無理に差し込まないでください。無理に押し込むとPCカードおよびパソコン本体のPCカードスロットを破損するおそれがあります。



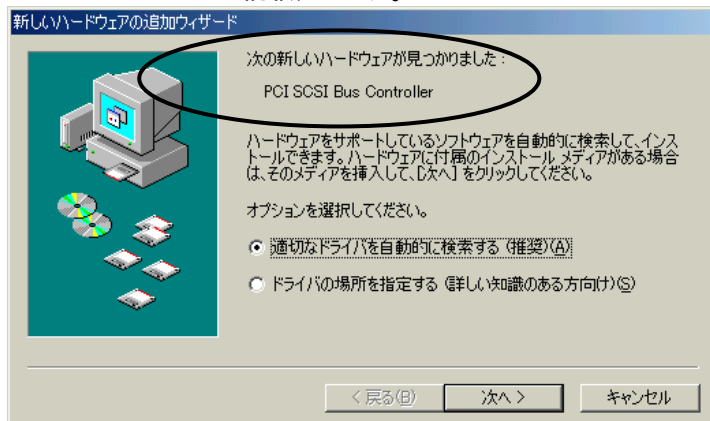
装着しても以降に示す作業が開始されない場合、パソコン本体が Card Bus に対応していない場合があります。一度カードを抜きパソコン本体が、Card Bus に対応しているか確認してください。詳細は、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

新しいハードウェアの追加ウィザード

以下の作業が自動的に開始されます。以前にこのインストールを行ったが途中で失敗し再度、インストールを行いたい場合トラブルシューティングの「REX-CB32 ドライバの完全削除するには」の項目 (P89)を行ってください。コントロールパネルのハードウェアウィザードを起動しても正しくインストールすることはできません。

1. 新しいハードウェアを追加するための画面が表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザードが起動され REX-CB32 を PCI SCSI Bus Controller として認識します。



ここで本製品に添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしそのまましばらく、お待ち下さい。

2. CD-ROM を挿入後、自動的に CD-ROM からドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。

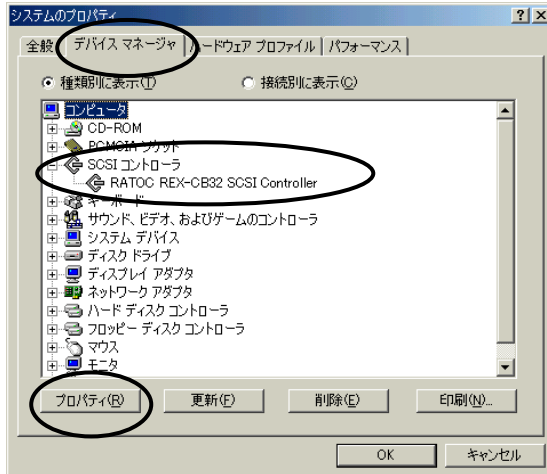


Setup Disk を抜いてください。
「完了」を押します。

ドライバインストールの確認

ドライバのインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。
この確認は、パソコン上で REX-CB32 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムを開きデバイスマネージャを選択します。



SCSI コントローラをダブルクリックし、「RATOC REX -CB32 SCSI Controller」と表示されていることを確認します。
「プロパティ」を表示します。

Me

2. 全般のタブを表示します。



「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。
エラーがある場合、「デバイスの状態」の欄に、エラーの内容が表示されます。

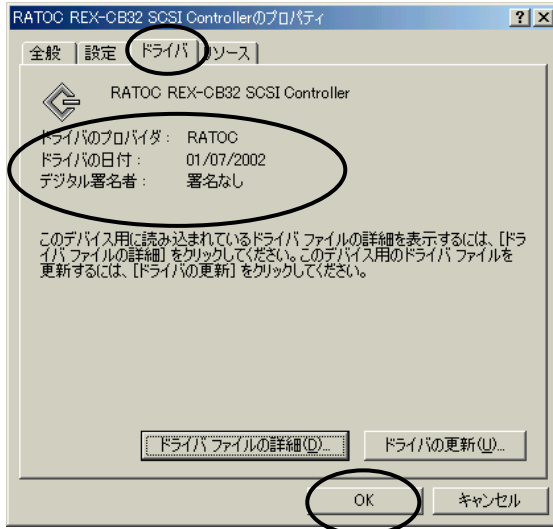
3. 設定のタブを表示します。



アダプタの設定には、何も入力しません。

第 4 章 Windows Me での REX-CB32 のインストール

4. ドライバにタグを表示します。



製造元、日付を確認しておきます。

Me

5. リソースのタグを選択します。



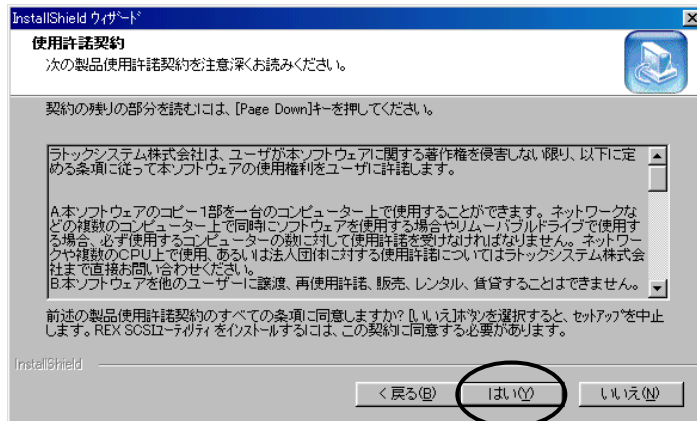
割り込み要求(IRQ)、メモリの範囲、I/O の範囲 が割り当たって、競合するデバイスがないことを確認します。

競合するデバイスに Card Bus Controller と表示される場合がありますが、正常な状態です。そのまま問題ありません。

SCSI ユーティリティのインストール

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器確認、SCSI コンフィギュレーションユーティリティのインストールを行います。

1. 添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 使用許諾契約に問題がなければ、[はい]をクリックします。
4. インストール先の選択画面が表示されます。通常、そのままで構いません。
[次へ]をクリックします。
5. セットアップタイプを選択する画面で、[標準]を選択してインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。

- I) REXSCSI ユーティリティ
- II) MO 用補助ドライバ

I) REXSCSI ユーティリティについて:

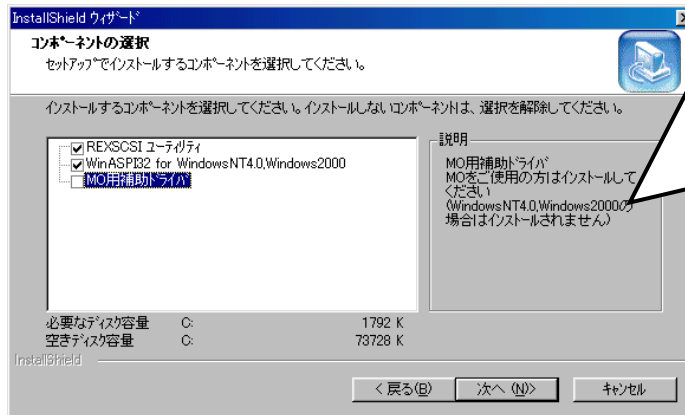
フォーマットユーティリティ、SCSI 機器接続確認ユーティリティ、SCSI コンフィギュレーションユーティリティの 3 種類があり、主な機能は次ページのとおりです。

II) MO 用補助ドライバについて:

640Mbyte の MO メディアの Read/Write に失敗する場合に対処するドライバです。

第 4 章 Windows Me での REX-CB32 のインストール

インストールするコンポーネントを選択したい場合、セットアップタイプを選択する画面で、[カスタム]を選択して進み、下記画面にてインストールしないコンポーネントのチェックマークを外してください。



「MO 用補助ドライバ」をインストールしない場合、それぞれのチェックマークを外してください。

「WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000」については、Windows Me の場合関係がありませんので、無視してください。

6. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REXSCSI ユーティリティ]が追加され、その中に次のユーティリティが追加されます。

フォーマットユーティリティとは：

HD,MO の WINASPI 対応フォーマッタです。

REX-CB32 に接続された HD,MO をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。FDISK 等のプログラムは使用できません。

フォーマットユーティリティ(P72)の説明を参照してください。

SCSI 機器接続確認ユーティリティとは：

REX-CB32 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。

SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。SCSI 機器接続確認ユーティリティ(P76)の説明を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティとは：

REX-CB32 の SCSI 構成情報を変更します。

特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。SCSI コンフィギュレーション(P78)の説明を参照してください。

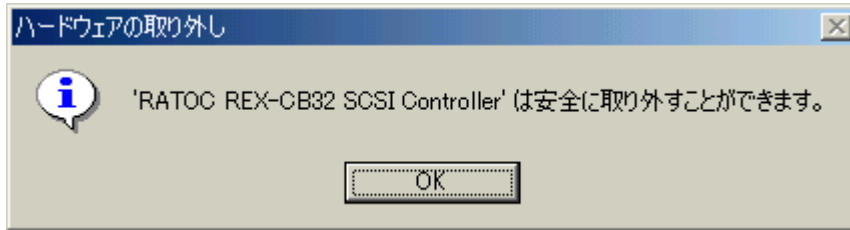
REX-CB32 PC カードの取り外し

1. SCSI PC カードの取り外し

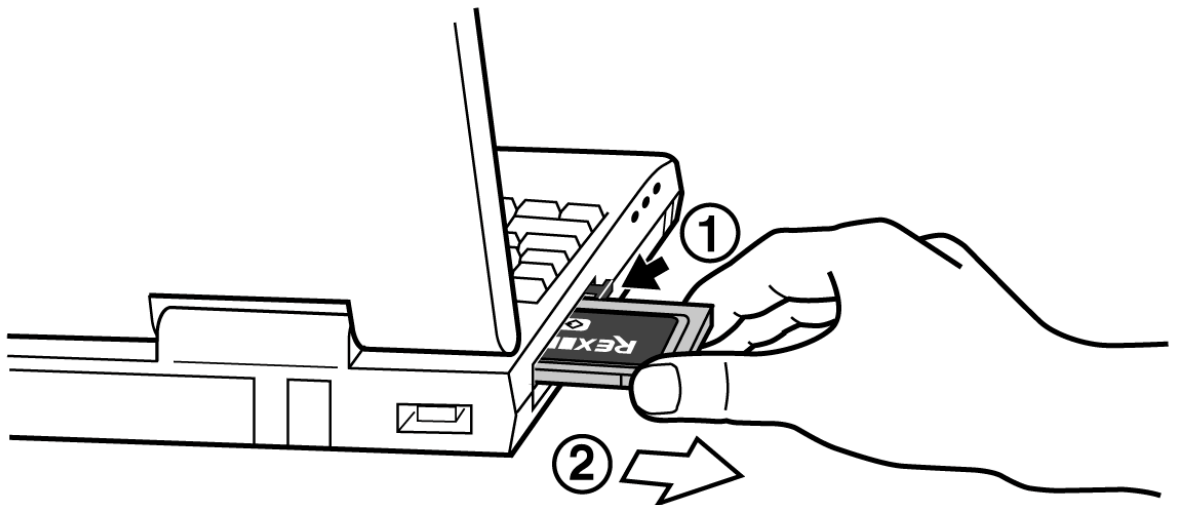


Windows Me のタスクバーにある PC カードのアイコンを左クリックすると [RATOC REX-CB32 SCSI Controller の中止] が表示されますので、それを選択します。

2. 「このデバイスは安全に取り外せます」と表示された後に、[OK]を押してください。



その後、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。
でイジェクトボタンを押して、 のように取り出します。



この操作を行わずにいきなり SCSI PC カードを抜いた場合の動作保証はできません。

次は、SCSI 機器を接続しましょう。
SCSI 機器の接続 (P66) へ
お進みください。



Me

5. Windows 98 での REX-CB32 のインストール

ここでは、すでに Windows 98 が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

インストールの流れ

インストールの流れを以下に示します。

使用上での制限事項の確認 P14

実際の作業を行う前に確認しておいてください。



REX-CB32 の装着 P46

インストール作業は、PC カードをパソコンの PC カードスロットへの装着から始まります。



新しいハードウェアの追加ウィザード P47

PC カードを動作させるためのドライバ(ソフトウェア)を組み込む作業です。



ドライバインストールの確認 P49

ドライバの組み込みが正しく完了したか確認する作業です。



SCSI ユーティリティのインストール P51

REX-CB32 を有効に使うためのソフトウェアを組み込む作業です。



REX-CB32 PC カードの取り外し P53

SCSI 機器を接続する前に、一度 REX-CB32 を取り外します。



PC カードと SCSI ケーブルの接続 P67

先に REX-CB32 と SCSI ケーブルを接続します。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

P68

REX-CB32 と接続した SCSI ケーブルを SCSI 機器に接続します。



REX-CB32 の装着と機器確認

P70

最後に、REX-CB32 と SCSI ケーブルと SCSI 機器の一体をパソコンに接続（ドッキング）します。



SCSI 機器へのアクセス

98

REX-CB32 の装着

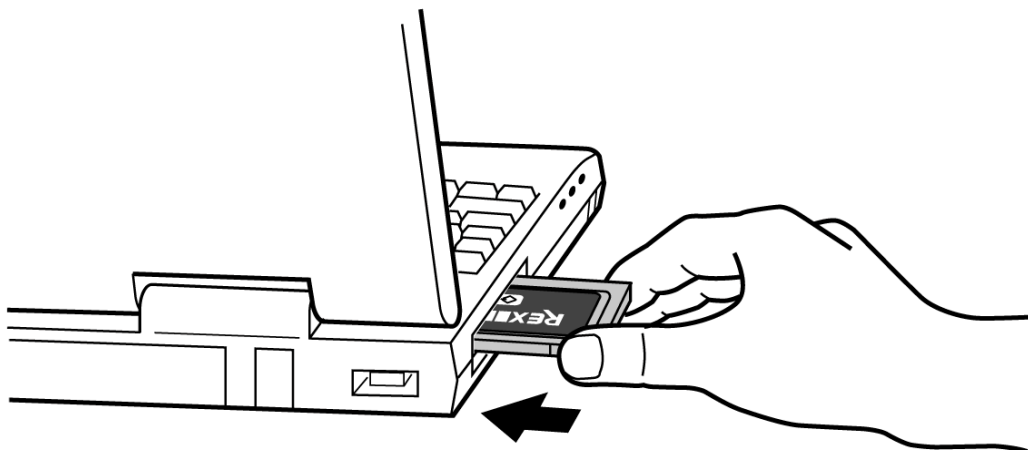
パソコン本体に添付のマニュアルに従って REX-CB32 を PC カードスロットに装着してください。

PC カードスロットに他の PC カードがある場合、その PC カードを取り外します。

インストール時に限り SCSI ケーブルの装着はしないで、PC カードを装着します。

Windows 98 が起動されている状態で、PC カードの「REX-CB32」と表記されている面を上にしてゆっくりと水平に挿入します。

カード挿入時、最後まで挿入できない場合、無理に差し込まないでください。無理に押し込むと PC カードおよびパソコン本体の PC カードスロットを破損するおそれがあります。



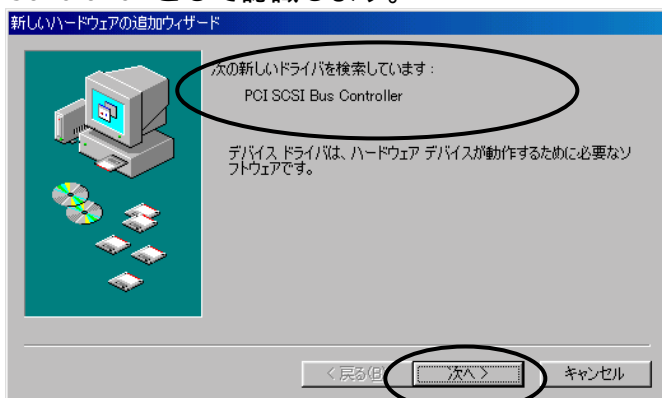
装着しても以降に示す作業が開始されない場合、パソコン本体が Card Bus に対応していない場合があります。一度カードを抜きパソコン本体が、Card Bus に対応しているか確認してください。詳細は、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

新しいハードウェアの追加ウィザード

以下の作業が自動的に開始されます。以前にこのインストールを行ったが途中で失敗し再度、インストールを行いたい場合トラブルシューティングの「REX-CB32 ドライバの完全削除するには」の項目 (P89)を行ってください。コントロールパネルのハードウェアウィザードを起動しても正しくインストールすることはできません。

1. 新しいハードウェアを追加するための画面が表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザードが起動され REX-CB32 を PCI SCSI Bus Controller として認識します。

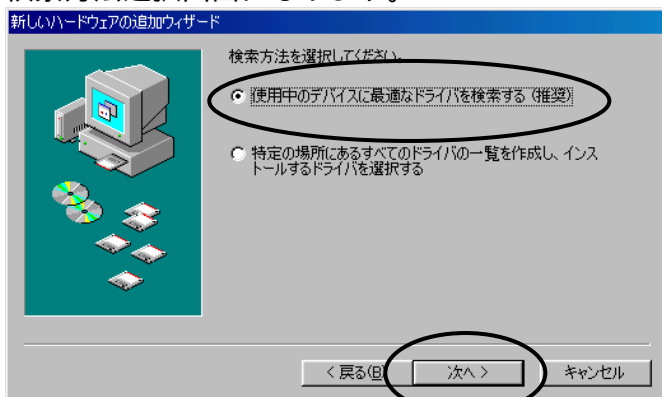


ここで本製品に添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットし「次へ」を選択してください。

98

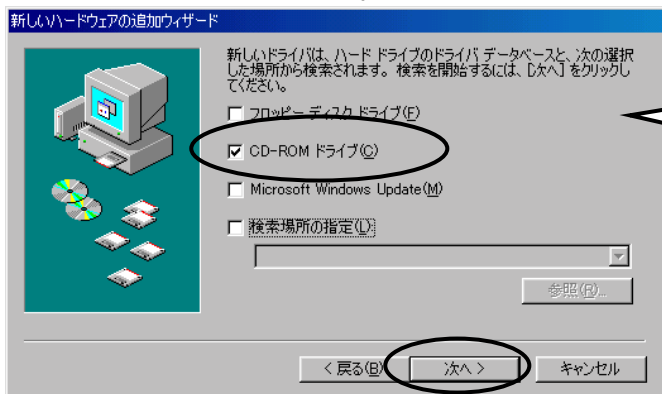
自動的に CD-ROM から設定用ファイルを読み込みます。

2. 検索方法選択画面になります。



「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択します。「次へ」を押します。

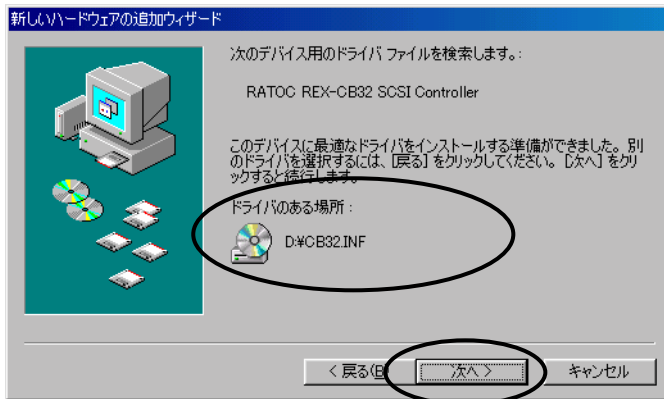
3. 検索の開始画面になります。



「 CD-ROM ドライブ」にチェックします。「次へ」を押します。

NEC パソコンでは Q:¥WIN98 ディレクトリも検索します。

4. ドライバのインストール確認画面が表示されます。



CD-ROM のドライバを読むようになっていることを（この場合 x:\CB32.INF）確認します。「次へ」を押します。

5. ドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。

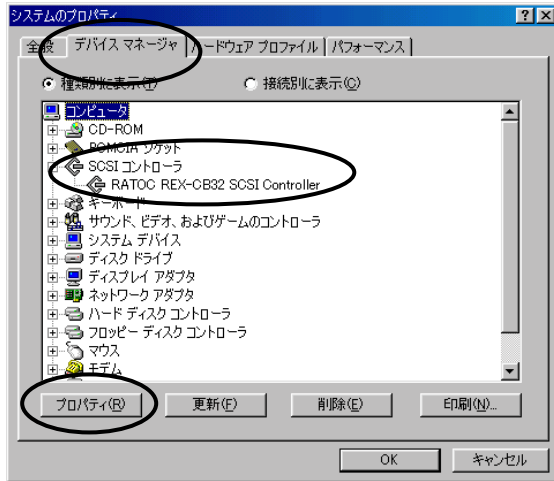


Setup Disk を抜いてください。「完了」を押します。

ドライバインストールの確認

ドライバのインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。
 この確認は、パソコン上で REX-CB32 が正しく動作しているかの確認になります。

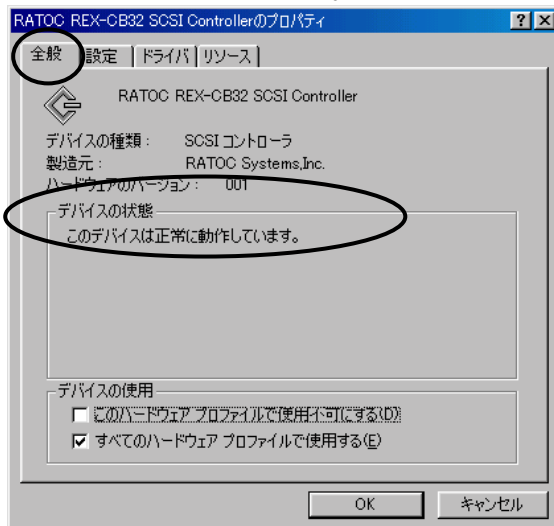
1. コントロールパネルのシステムを開きデバイスマネージャを選択します。



SCSI コントローラをダブルクリックし、「RATOC REX- CB32 SCSI Controller」と表示されていることを確認します。
 「プロパティ」を表示します。

98

2. 全般のタブを表示します。



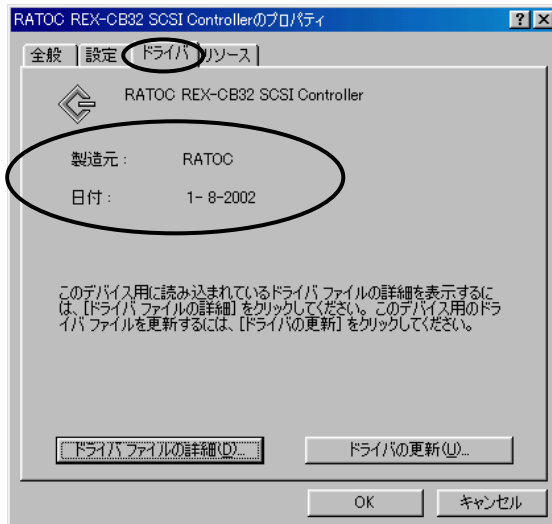
「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。
 エラーがある場合、「デバイスの状態」の欄に、エラーの内容が表示されます。

3. 設定のタブを表示します。



アダプタの設定には、何も入力しません。

4. ドライバにタグを表示します。



製造元、日付を確認しておきます。

5. リソースのタグを選択します。



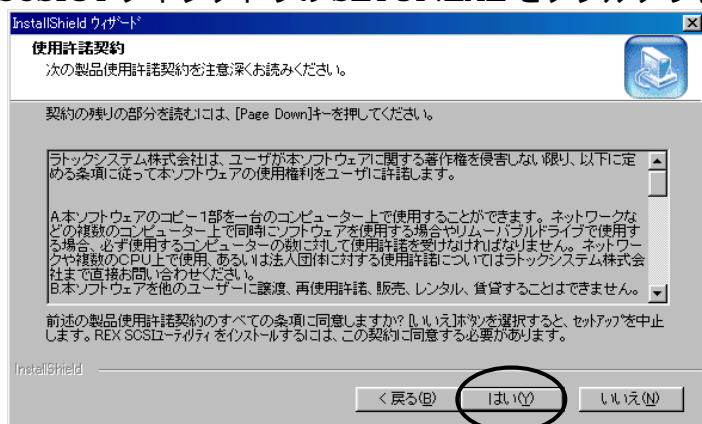
割り込み要求(IRQ)、メモリの範囲、I/O の範囲 が割り当たって、競合するデバイスがないことを確認します。

競合するデバイスに Card Bus Controller と表示される場合がありますが、正常な状態です。そのまま問題ありません。

SCSI ユーティリティのインストール

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器確認、SCSI コンフィギュレーションユーティリティのインストールを行います。

1. 添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 使用許諾契約に問題がなければ、[はい]をクリックします。
4. インストール先の選択画面が表示されます。通常、そのままで構いません。
[次へ]をクリックします。
5. セットアップタイプを選択する画面で、[標準]を選択してインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。
 - I) REXSCSI ユーティリティ
 - II) MO 用補助ドライバ

I) REXSCSI ユーティリティについて:

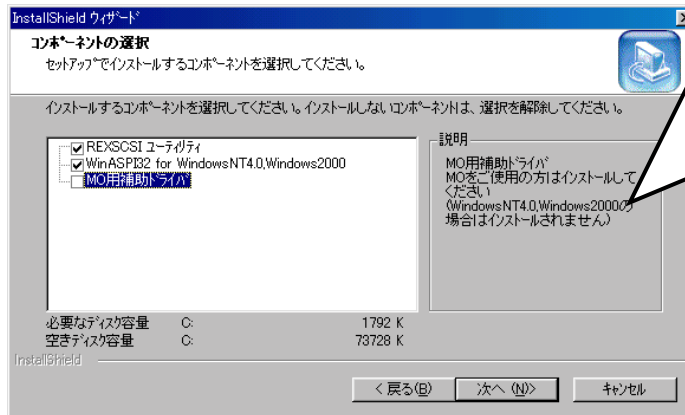
フォーマットユーティリティ、SCSI 機器接続確認ユーティリティ、SCSI コンフィギュレーションユーティリティの 3 種類があり、主な機能は次ページのとおりです。

II) MO 用補助ドライバについて:

640Mbyte の MO メディアの Read/Write に失敗する場合に対処するドライバです。

第 5 章 Windows 98 での REX-CB32 のインストール

インストールするコンポーネントを選択したい場合、セットアップタイプを選択する画面で、[カスタム]を選択して進み、下記画面にてインストールしないコンポーネントのチェックマークを外してください。



「MO 用補助ドライバ」をインストールしない場合、チェックマークを外してください。

「WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000」については、Windows 98 の場合関係がありませんので、無視してください。

98

6. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REXSCSI ユーティリティ]が追加され、その中に次のユーティリティが追加されます。

フォーマットユーティリティとは：

HD,MO の WINASPI 対応フォーマッタです。

REX-CB32 に接続された HD,MO をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。FDISK 等のプログラムは使用できません。

フォーマットユーティリティ (P72) の説明を参照してください。

SCSI 機器接続確認ユーティリティとは：

REX-CB32 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。

SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。SCSI 機器接続確認ユーティリティ (P76) の説明を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティとは：

REX-CB32 の SCSI 構成情報を変更します。

特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。SCSI コンフィギュレーション (P78) の説明を参照してください。

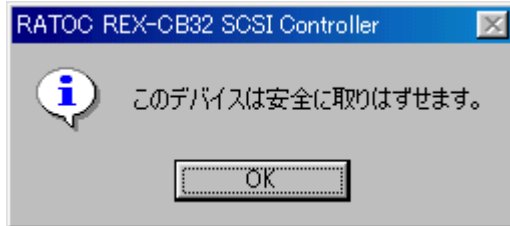
REX-CB32 PC カードの取り外し

3. SCSI PC カードの取り外し

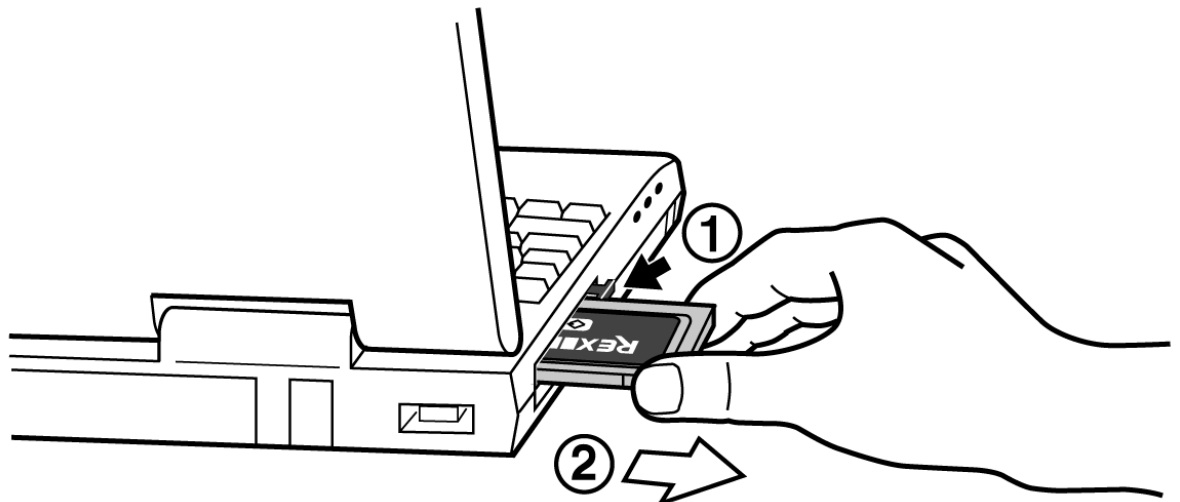


Windows 98 のタスクバーにある PC カードのアイコンを左クリックすると [RATOC REX-CB32 SCSI Controller の中止] が表示されますので、それを選択します。

4. 「このデバイスは安全に取り外せます」と表示された後に、[OK]を押してください。



その後、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。
でイジェクトボタンを押して、 のように取り出します。



この操作を行わずにいきなり SCSI PC カードを抜いた場合の動作保証はできません。

次は、SCSI 機器を接続しましょう。
SCSI 機器の接続 (P66) へ
お進みください。



6. Windows 95 での REX-CB32 のインストール

ここでは、すでに Windows 95 が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

インストールの流れ

インストールの流れを以下に示します。

使用上での制限事項の確認	P14
PC カードコントローラの確認	P56

実際の作業を行う前に確認しておいてください。



REX-CB32 の装着	P58
---------------------	-----

インストール作業は、PC カードをパソコンの PC カードスロットへの装着から始まります。



デバイスドライバウィザード	P59
----------------------	-----

PC カードを動作させるためのドライバ(ソフトウェア)を組み込む作業です。



ドライバインストールの確認	P60
----------------------	-----

ドライバの組み込みが正しく完了したか確認する作業です。



SCSI ユーティリティのインストール	P62
----------------------------	-----

REX-CB32 を有効に使うためのソフトウェアを組み込む作業です。



REX-CB32 PC カードの取り外し	P64
-----------------------------	-----

SCSI 機器を接続する前に、一度 REX-CB32 を取り外します。



PC カードと SCSI ケーブルの接続	P67
-----------------------------	-----

先に REX-CB32 と SCSI ケーブルを接続します。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

P68

REX-CB32 と接続した SCSI ケーブルを SCSI 機器に接続します。



REX-CB32 の装着と機器確認

P70

最後に、REX-CB32 と SCSI ケーブルと SCSI 機器の一体をパソコンに接続（ドッキング）します。



SCSI 機器へのアクセス

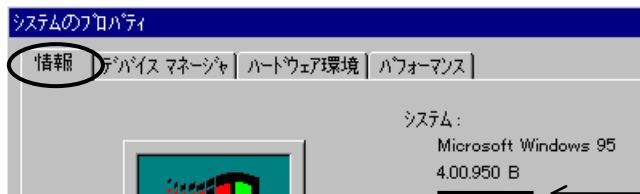
95

PC カードコントローラの確認

ご使用になるパソコンが Card Bus 用のカードが使用できるかの確認を行います。

PC カードコントローラの設定が有効になっていない場合、Card Bus PC カードがまったく動作しませんので必ず確認してください。

1. まず、オペレーティングシステムが Windows 95B(OSR2)かそれ以上かどうかの確認を行います。[マイコンピュータ]より[コントロールパネル]の[システム]を開いてシステムのプロパティ画面を表示してください。[情報]タグの内容で「4.00.950 B」または「4.00.950 C」と表示されていることを確認してください。

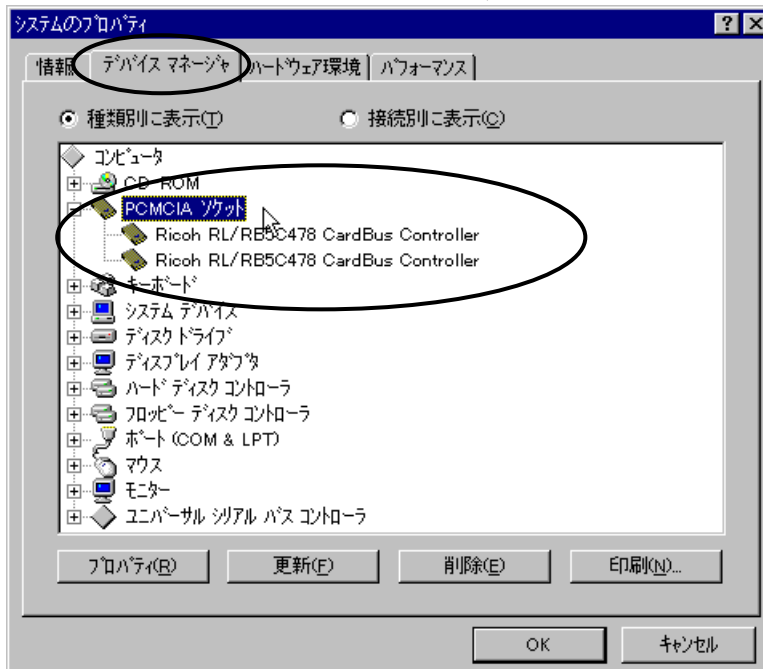


ここを確認します

「4.00.950 B」または「4.00.950 C」と表示されていない場合、ご使用できません。

2. [デバイスマネージャ]のタグをクリックしてデバイストリーを表示してください。

3. [PCMCIA ソケット]をダブルクリックし「Ricoh RL/RB5C478 Card Bus Controller」等の Card Bus コントローラ名が表示されているか確認します。コントローラ名はほかに「PCI-1130/31 Card Bus Controller」「Cirrus Logic CL-PD6832 Card Bus Controller」、「O2 Micro」等があります。



本画面は Ricoh RL/RB5C478 CardBus Controller が正常に動作していることを示します。

95

「PCIC または互換 PCMCIA コントローラ」と表示されている場合は、Card Bus に対応していません。もしくは、パソコンの BIOS 設定で PC Card Controller の設定が PCIC Compatible となっている可能性があります。通常 Disable/PCIC Compatible/Card Bus の選択ができます。「Card Bus」を選択してください。

さらにコントロール名をダブルクリックし「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていれば問題ありません。Controller の項目に「×」や「！」がついている場合、REX-CB32 を使用することはできません。この場合、「PC カード(PCMCIA)ウィザード」で Card Bus が正常に使用できるように設定します。この場合、パソコンメーカー様にお問い合わせください。

REX-CB32 の装着

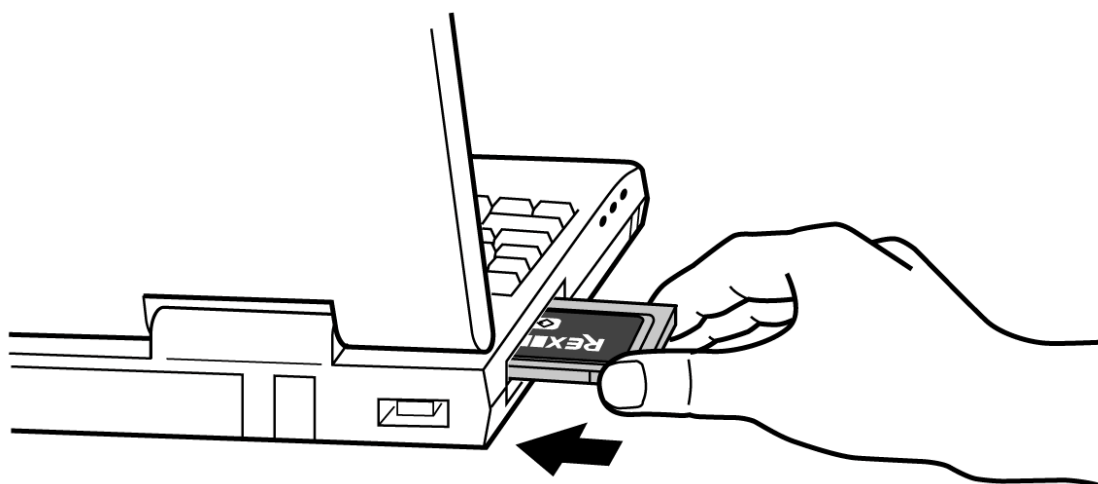
パソコン本体に添付のマニュアルに従って REX-CB32 を PC カードスロットに装着してください。

PC カードスロットに他の PC カードがある場合、その PC カードを取り外します。インストール時に限り SCSI ケーブルの装着はしないで、PC カードを装着します。

Windows 95 が起動されている状態で、PC カードの「REX-CB32」と表記されている面を上にしてゆっくりと水平に挿入します。

カード挿入時、最後まで挿入できない場合、無理に差し込まないでください。無理に押し込むと PC カードおよびパソコン本体の PC カードスロットを破損するおそれがあります。

95



装着しても以降に示す作業が開始されない場合、パソコン本体が Card Bus に対応していない場合があります。一度カードを抜きパソコン本体が、Card Bus に対応しているか確認してください。詳細は、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

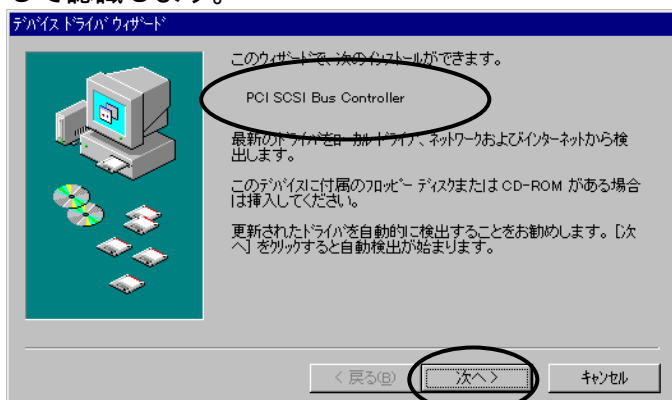
デバイスドライバウィザード

以下の作業が自動的に開始されます。以前にこのインストールをおこなったが、途中で失敗し再度インストールを行いたい場合、トラブルシューティングの「REX-CB32 ドライバの完全削除するには (P89)」の項目を行ってください。

コントロールパネルのハードウェアウィザードを起動しても正しくインストールすることはできません。

1. デバイスドライバウィザードの画面が表示されます。

デバイスドライバウィザードが起動され REX-CB32 を PCI SCSI Bus Controller として認識します。



ここで本製品に添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットし「次へ」を選択してください。

95

自動的に CD-ROM から設定用ファイルを読み込みます。

2. 「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」と表示されます。



デバイスドライバウィザードが正常に REX-CB32 用情報ファイルを見つけて、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」と表示されたら、「完了」を押してください。

このように表示される場合があります。



「OK」を押してください。

3. ファイルのコピー元を入力する画面になります。



CD-ROMドライブのWIN9Xフォルダを指定してください。「OK」を押します。

4. ドライバのコピーが開始され、しばらくするとデバイスドライバウィザードが終了します。

Setup Disk を抜いてください。

ドライバインストールの確認

95

ドライバインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。

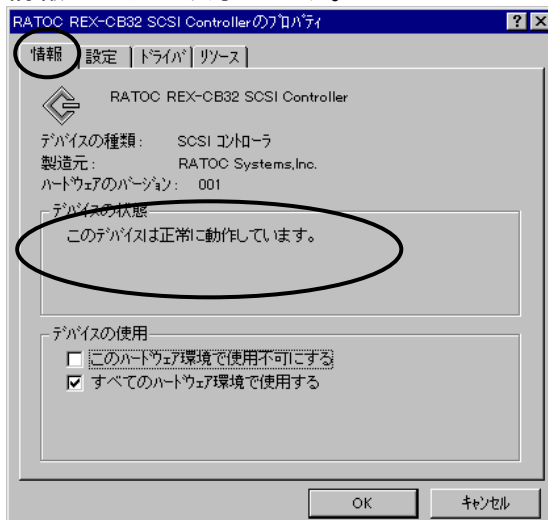
ここでの確認は、パソコン上で REX-CB32 が正しく動作しているかの確認になります。

1. コントロールパネルのシステムのデバイスマネージャを開きます。



SCSI コントローラをダブルクリックし、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」と表示されていることを確認します。そのほかにも、アダプタが表示されることもありますが、関係ありません。RATOC REX-CB32 SCSI Controller を選択し「プロパティ」を表示します。

2. 情報のタグを表示します。



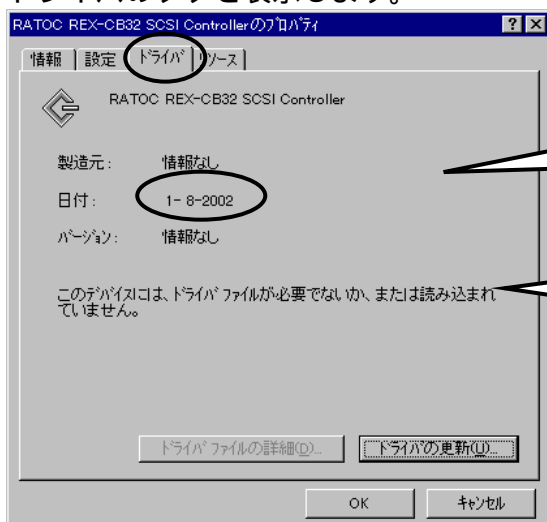
「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。エラーがある場合、「デバイスの状態」に、エラーの内容が表示されます。

3. 設定のタグを表示します。



アダプタの設定には、何も入力しません。

4. ドライバのタグを表示します。



製造元、日付を確認しておきます。

このようなメッセージが表示されますが、正常な状態です。

95

5. リソースのタグを選択します。



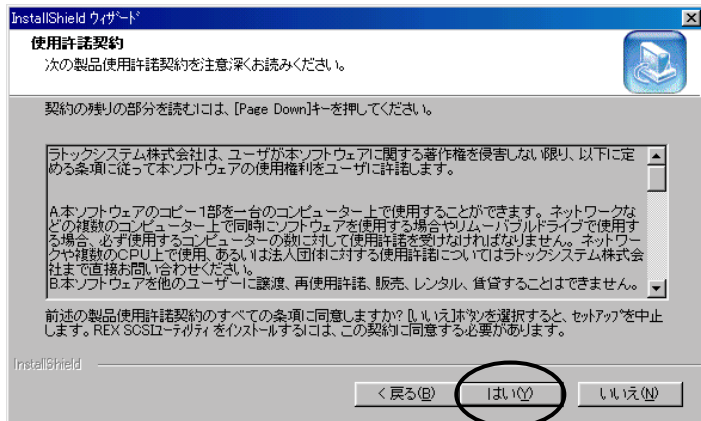
割り込み要求 (IRQ)、メモリの範囲、I/O の範囲 が割り当たって、競合するデバイスがないことを確認します。

競合するデバイスに Card Bus Controller と表示される場合がありますが、正常な状態です。そのまま問題ありません。

SCSI ユーティリティのインストール

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器確認、SCSI コンフィギュレーションユーティリティのインストールを行います。

1. 添付の Setup Disk を CD-ROM ドライブにセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの SETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 使用許諾契約に問題がなければ、[はい]をクリックします。
4. インストール先の選択画面が表示されます。通常、そのままで構いません。
[次へ]をクリックします。
5. セットアップタイプを選択する画面で、[標準]を選択してインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。

- I) REXSCSI ユーティリティ
- II) MO 用補助ドライバ

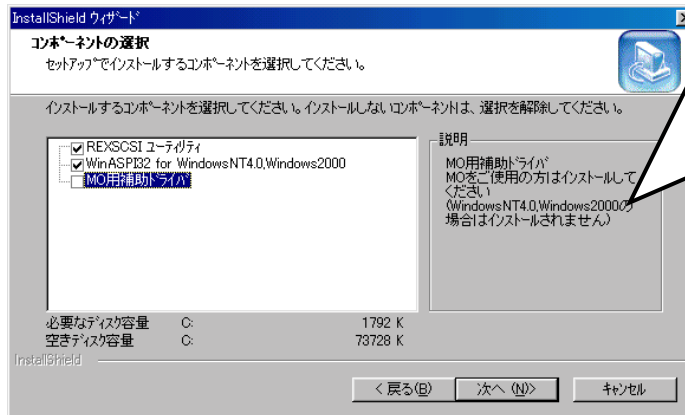
I) REXSCSI ユーティリティについて:

フォーマットユーティリティ、SCSI 機器接続確認ユーティリティ、SCSI コンフィギュレーションユーティリティの 3 種類があり、主な機能は次ページのとおりです。

II) MO 用補助ドライバについて:

640Mbyte の MO メディアの Read/Write に失敗する場合に対処するドライバです。

インストールするコンポーネントを選択したい場合、セットアップタイプを選択する画面で、[カスタム]を選択して進み、下記画面にてインストールしないコンポーネントのチェックマークを外してください。



「MO用補助ドライバ」をインストールしない場合、チェックマークを外してください。

「WinASPI32 for Windows NT4.0、Windows 2000」については、Windows 95 の場合関係がありませんので、無視してください。

6. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REXSCSI ユーティリティ]が追加され、その中に次のユーティリティが追加されます。

95

フォーマットユーティリティとは：

HD,MO の WINASPI 対応フォーマッタです。

REX-CB32 に接続された HD,MO をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。FDISK 等のプログラムは使用できません。

フォーマットユーティリティ(P72)の説明を参照してください。

SCSI 機器接続確認ユーティリティとは：

REX-CB32 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。

SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。SCSI 機器接続確認ユーティリティ(P76)の説明を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティとは：

REX-CB32 の SCSI 構成情報を変更します。

特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。SCSI コンフィギュレーション(P78)の説明を参照してください。

REX-CB32 PC カードの取り外し

1. SCSI PC カードの取り外し

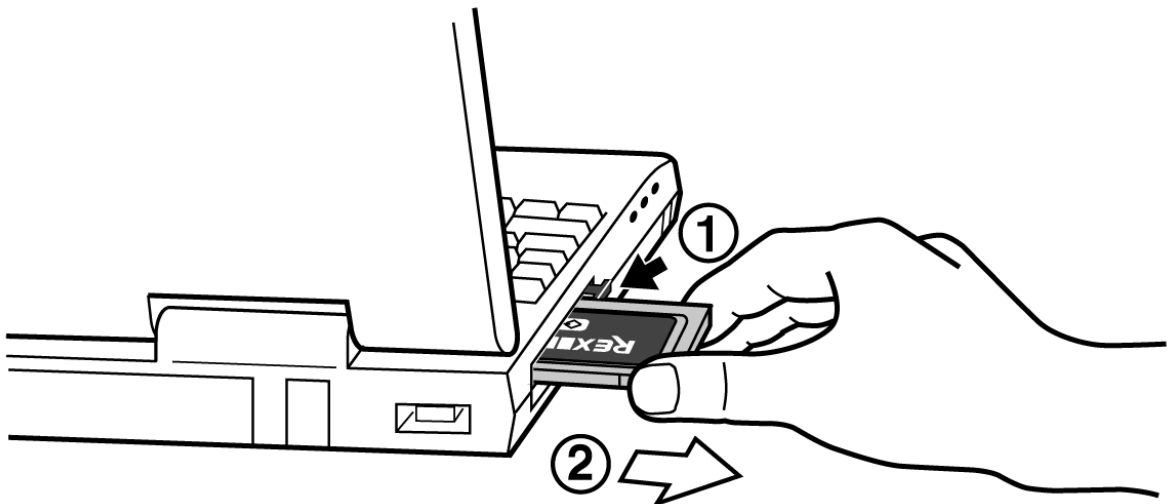


Windows 95 のタスクバーにある PC カードのアイコンを左クリックすると [RATOC REX-CB32 SCSI Controller の中止] が表示されますので、それを選択します。

2. 「このデバイスは安全に取り外せます」と表示された後に、[OK]を押してください。



その後、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。
でイジェクトボタンを押して、 のように取り出します。



この操作を行わずにいきなり SCSI PC カードを抜いた場合の動作保証はできません。

次は、SCSI 機器を接続しましょう。
SCSI 機器の接続 (P66) へ
お進みください。



7. SCSI 機器の接続

ここでは、REX-CB32 のドライバインストール確認をした後、SCSI 機器を接続し SCSI 機器の接続確認を行うまでの手順を示します。

接続方法の流れ

接続方法の流れを以下に示します。

REX-CB32 PC カードの取り外し

(インストールの章の最後に行っています。)

SCSI 機器を接続する前に、一度 REX-CB32 を取り外します。



PC カードと SCSI ケーブルの接続

P67

先に REX-CB32 と SCSI ケーブルを接続します。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

P68

REX-CB32 と接続した SCSI ケーブルを SCSI 機器に接続します。



REX-CB32 の装着と機器確認

P70

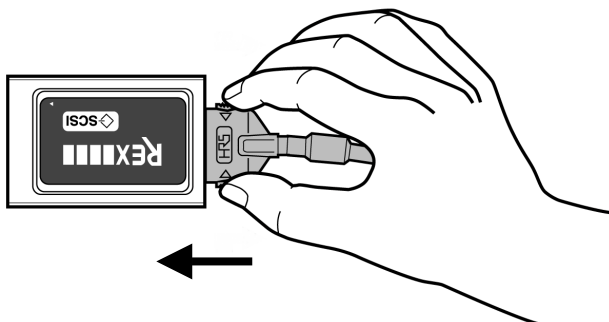
最後に、“REX-CB32 と SCSI ケーブルと SCSI 機器”の一体をパソコンに接続 (ドッキング) します。



SCSI 機器へのアクセスが可能になります。

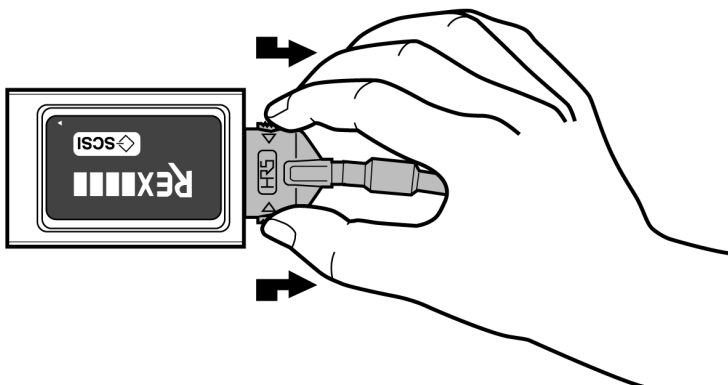
PC カードと SCSI ケーブルの接続

本製品添付の SCSI ケーブルの小さい方のコネクタの [▷ □ ◁] マークがあるほうを PC カードの REX-CB32 の表記がある面に向けて差し込んでください。

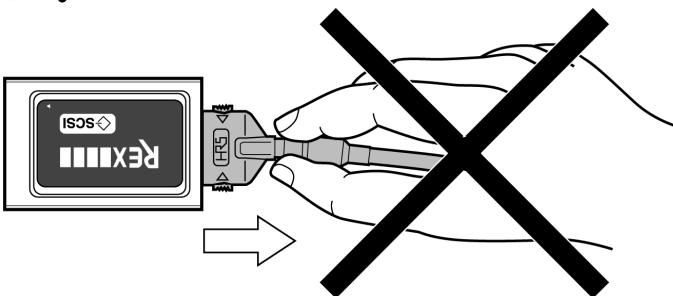


SCSI ケーブルを取り外すときの注意

SCSI ケーブルを REX-CB32 から取り外す場合は、コネクタ両側の突起を押さえながら取り外してください。



突起を押さえずに無理にコネクタを外すと REX-CB32 やコネクタ、SCSI ケーブルが破損するおそれがあります。この場合、保証対象外となりますので注意してください。



SCSI ケーブルと SCSI 機器の接続

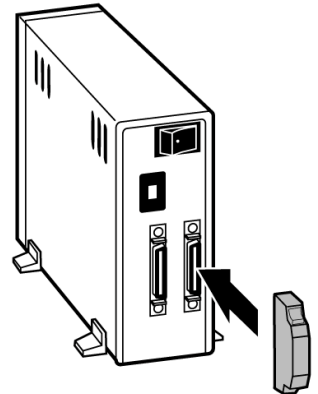
本項では、一般的な SCSI 機器での接続に関する説明を行っています。個々の SCSI 機器の詳細については、それぞれの SCSI 機器のマニュアルをお読みください。SCSI 機器のマニュアルと本項の説明で異なる場合は、本項での説明に従ってください。

1. SCSI ターミネータの装着

SCSI バス接続の終端となる SCSI 機器に SCSI ターミネータが内蔵されていない場合は、SCSI 機器の SCSI コネクタに SCSI ターミネータを装着してください。

SCSI ターミネータは、必ず**アクティブターミネータ**をご使用ください。

SCSI 機器のメーカーによっては Ultra SCSI(同期転送 20MB/Sec)に適さないターミネータを添付している場合があります。この場合は、機器が認識できなかったり、アクセス中にハングアップする場合がありますので注意してください。



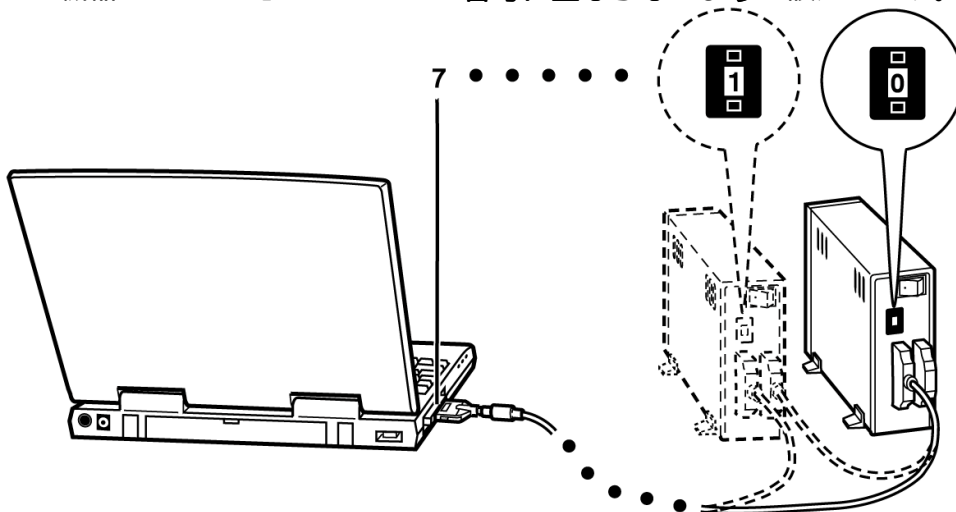
2. タームパワーの確認

接続されている SCSI 機器のいずれか 1 台から SCSI バスに対して**タームパワー**を供給するように設定します。タームパワーの供給能力・設定方法については SCSI 機器のマニュアルをご覧ください。なお、複数台接続する場合、**1 台の SCSI 機器からタームパワーを供給する**ようになっていれば、他の SCSI 機器はタームパワーを供給できなくても使用できるようになります。

3. SCSI-ID の設定

各 SCSI 機器の SCSI-ID 番号(ユニット番号)を設定します。

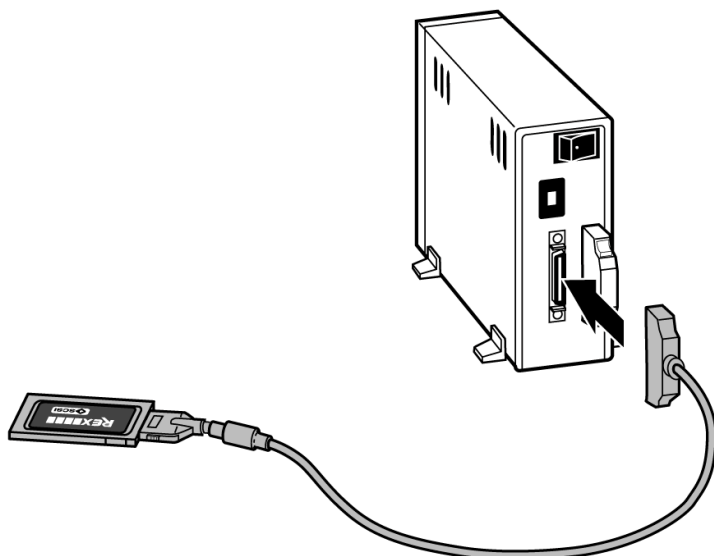
REX-CB32 の SCSI-ID 番号は「7」番(デフォルト)になっていますので、それぞれの機器は「0~15」の空いている番号に**重ならない**ように設定します。



SCSI-ID 番号の設定方法については SCSI 機器のマニュアルをご覧ください。

4. SCSI ケーブルの接続

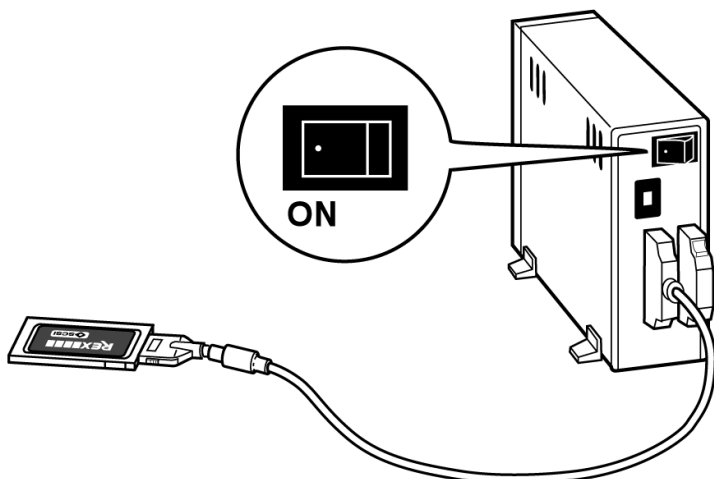
PC カードに取り付けた方と反対のコネクタを SCSI 機器に接続します。



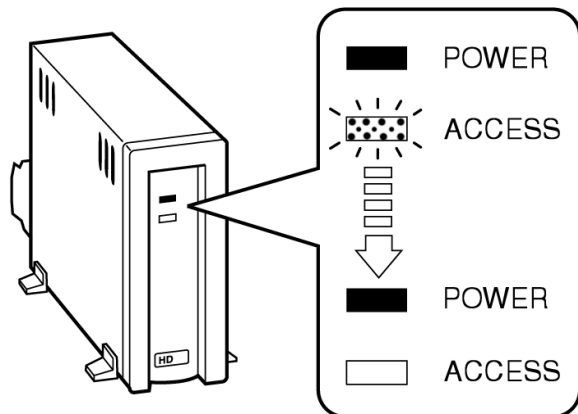
50 ピンのピンタイプコネクタおよび 68 ピンのピンタイプコネクタは折れやすいので、取り付けには十分注意してください。

5. SCSI 機器の電源 ON

接続した SCSI 機器すべての電源を ON にしてください。



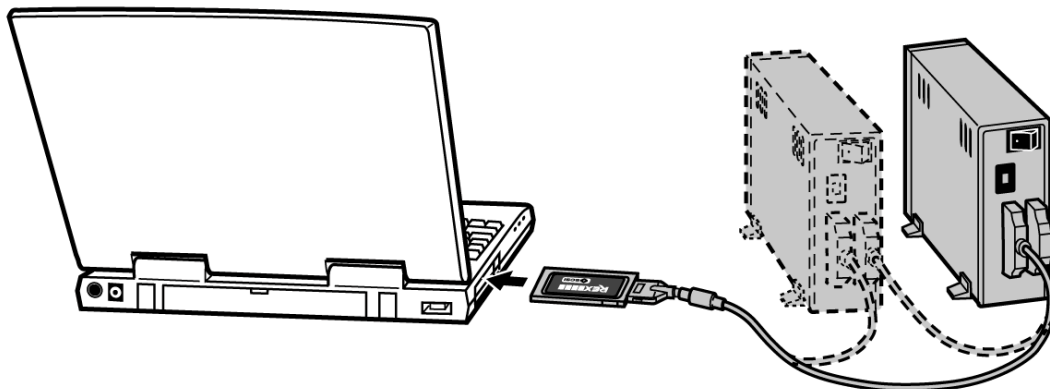
6. アクセスランプが消灯するまで待ちます。



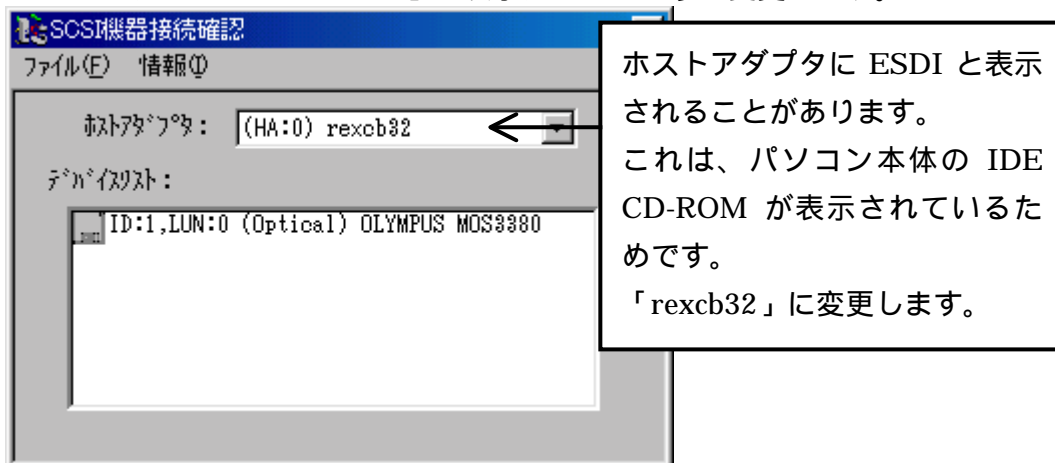
REX-CB32 の装着と機器確認

1. REX-CB32 をパソコンに装着します。

カード挿入時、SCSIケーブルのコネクタの厚みの制限で最後まで挿入できない場合があります、この場合は無理に差し込まないでください。
無理に押し込むとPCカードおよびパソコン本体のPCカードスロットを破損するおそれがあります。



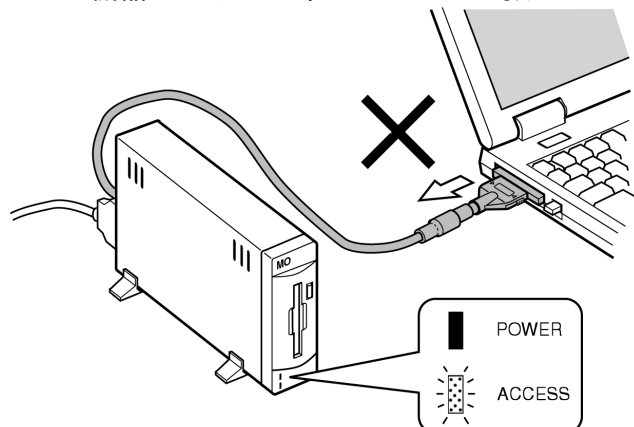
2. REX-CB32 のドライバがロードされ、PC カードを認識するのに 10 数秒かかります。
3. 「ピポッ」と音がすれば、認識が完了です。
4. SCSI 機器の接続確認をします。
Windows の[スタート]ボタンから [プログラム] - [REXSCSI ユーティリティ] - [SCSI 機器接続確認] を選択します。
5. ホストアダプタ：に「rexcb32」と表示がされるように変更します。



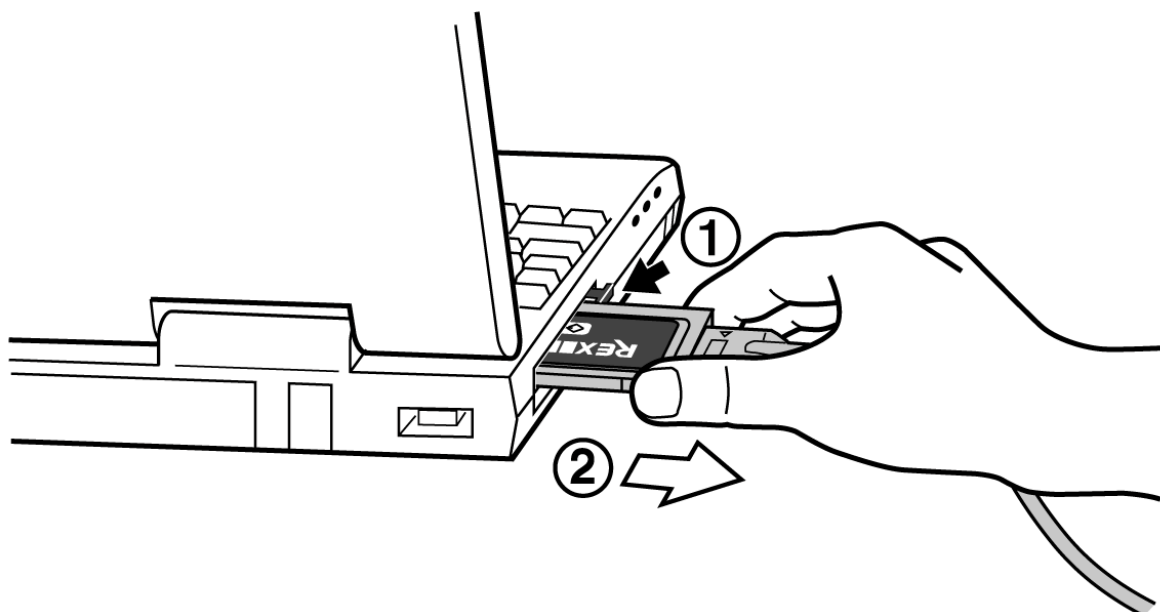
例のように接続されている機器が表示されていれば、SCSI 機器は正しく動作しています。表示されない場合および「rexcb32」に変更できない場合、「SCSI 機器接続確認ユーティリティ」(P76) を参照してください。この例では、Olympus の MO が表示されています。

6. HD/MO/CD-ROM を接続した場合、マイコンピュータにそれぞれのアイコンが表示されます。

7. SCSI 機器のアクセス中にはカードを抜かないようにしてください。



SCSI 機器の使用を終える時は、各 OS のインストール方法の章に記載された”REX-CB32 PC カードの取り外し”に従って、REX-CB32 を PC カードスロットより取り外してください。



ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを接続する場合は、SCSI フォーマットユーティリティ (P72) にドライブのフォーマット方法が記載されていますので、参照してください。

その他の SCSI 機器 (イメージスキャナ、フィルムスキャナ、CD-R、CDRW、DVD 等) を接続の場合、それぞれのマニュアルをお読みください。

8. SCSI ユーティリティについて

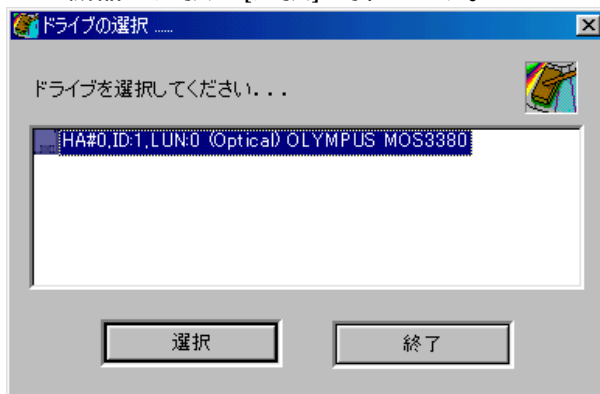
この章では、添付ディスクの CD-ROM に含まれるユーティリティソフトウェアについて説明していきます。

フォーマットユーティリティ

REX-CB32 に接続されたハードディスク、MO,PD,リムーバブルディスクに対してフォーマットします。CD-R,CDRW,DVD-RAM に対しては選択できません。

1. [スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REXSCSI ユーティリティ]の[フォーマットユーティリティ]を起動します。

次のように接続されている機器のインクアイリ情報が表示されます。フォーマットしたい機器を選択し[選択]を押します。



対象とする SCSI 機器は、ハードディスク、MO,PD,リムーバブルディスクです。CD-R,CDRW,DVD-RAM については、表示および選択できません。

2. 選択後、次の画面が表示されます。画面の白い Window に対して右クリックするとメニューが表示されますので、[メディア初期化]を選択します。メニューバーの[処理]からも[メディア初期化]を選択できます。



本プログラムの制限:

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。

3. 初期化の指定画面が表示されます。下の画面は MO ドライブを接続した場合の画面です(HD を接続した場合は、ステップ 5 へお進みください)。PD などの取り外し可能なメディアを接続した場合も同様の手順でフォーマットを行うことができます。フォーマットする場合は、[スーパーフロッピー形式]を選択します。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、[物理フォーマットも行う]にチェックします。[OK]ボタンをクリックしてください。データが消去される旨の確認メッセージが 2 回表示されます。問題がないことを再確認してください。



この例では、230MB の MO をフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式]を選択します。

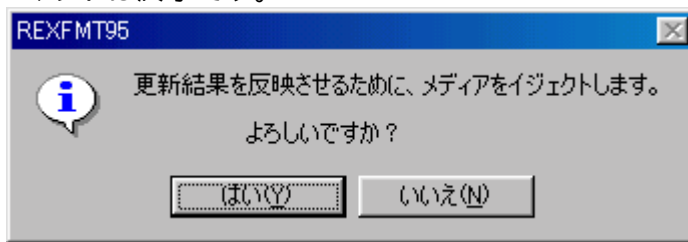
4. フォーマット終了後、区画をどのように設定するかを指定する画面が表示されます。ファイルシステムを選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。本プログラムは FAT32 をサポートしていますのでファイルシステムにて FAT32 を選択することが可能です。[OK]ボタンをクリック後、区画作成開始のメッセージが表示されますので、問題がなければ続行します。



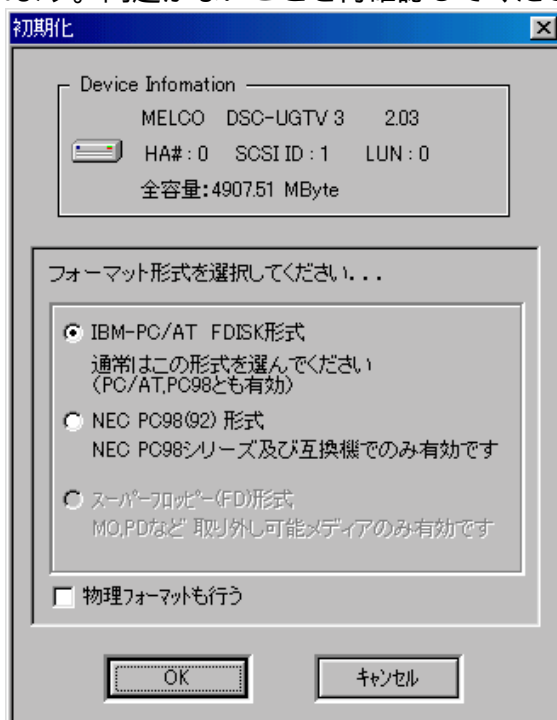
FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。(Windows 95B(OSR2)以降の OS が FAT32 をサポートしています)

第 8 章 SCSI ユーティリティについて

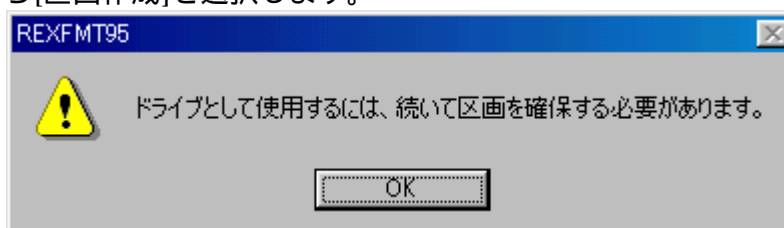
5. メニューバーの[ファイル]から[終了]を選択すると、「メディアをイジェクトします」のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてメディアを排出してください。以上で、MO、PD などの取り外し可能なメディアを接続した場合のフォーマットは終了です。



6. 下の画面はHD ドライブを接続した場合の画面です。HD をフォーマットする場合は、通常、[IBM-PC/AT FDISK 形式]を選択します。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、[物理フォーマットも行う]にチェックします。[OK] ボタンをクリックしてください。データが消去される旨の確認メッセージが 2 回表示されます。問題がないことを再確認してください。



7. 「続いて区画を確保する必要があります」のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。ステップ 2 に示した画面のメニューバーの[処理]から[区画作成]を選択します。



8. フォーマット終了後、区画をどのように設定するかを指定する画面が表示されます。スライダーにて確保したい区画サイズを指定します。次に、ファイルシステムを選択し、[OK]ボタンをクリックします。本プログラムはFAT32をサポートしていますのでファイルシステムにてFAT32を選択することが可能です。[OK]ボタンをクリック後、区画作成開始のメッセージが表示されますので、問題がなければ続行します。



スライダーにて確保したい区画サイズを指定します。区画を分けない場合は、100%を指定してください。

9. フォーマット完了後、タスクバーの[ファイル]メニューから[終了]を選択すると、次のメッセージが表示されます。以下のいずれかの操作を行ってください。

システムを再起動する。

PC カード(REX-CB32)を終了し、再度 REX-CB32 を挿入する。



SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI PCカードに接続されているSCSI機器をWindows上から確認するためのユーティリティです。必ず起動する前に、SCSI機器を接続し、SCSI機器の電源を入れてください。

[スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REXSCSI ユーティリティ]の[SCSI 機器接続確認]を起動します。



[ホストアダプタ:]

接続されている SCSI インターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンでは、ここの覧が [rexcb32] と表示されているか確認してください。

「rexcb32」と表示されないまたは変更できない場合、以下の原因が考えられます。

- REX-CB32 のドライバが正しく動作していない。
- SCSI ケーブルが正しく接続されていない。(断線の可能性)
- 他メーカーの SCSI PC カードケーブルを使用している。
- SCSI 機器の電源が入っていない、またはターミネータの設定がされていない。

[デバイスリスト:]

接続されている SCSI 機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- SCSI 機器 ID 番号 (ID:)
- ロジカルユニット番号 (LUN:)
- デバイスタイプ (カッコ内)
- ベンダ名および型番

[再スキャン]

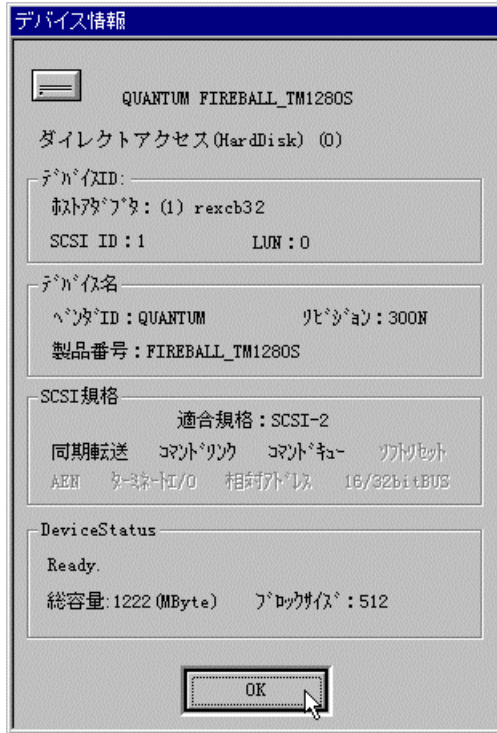
[ファイル]メニューの[再スキャン]は、SCSI PC カードを抜き差しした後の最新情報を表示させるための機能です。

SCSI 機器を追加した場合は、必ず SCSI PC カードの抜き差しを行ってから再スキャンを実行しないと、追加された SCSI 機器の情報は表示されません。

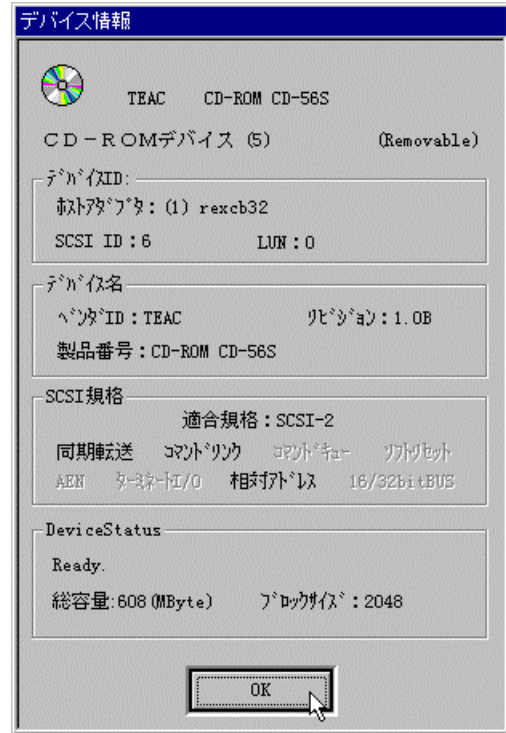
また、情報を確認したい機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

SCSI機器の詳細情報の例

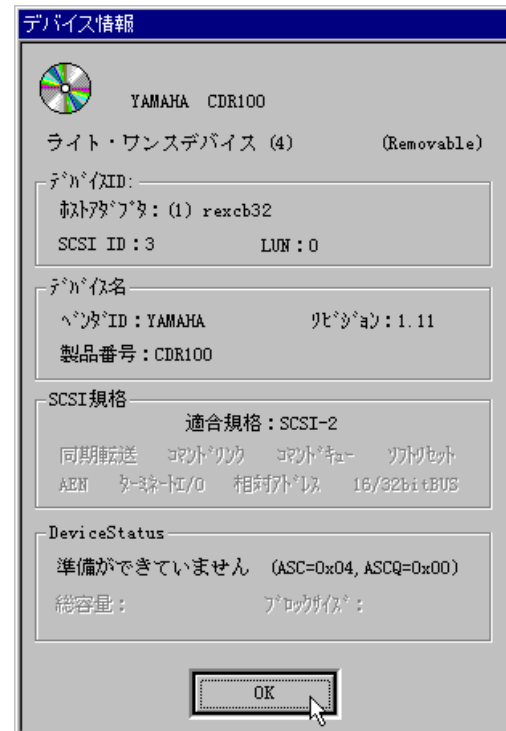
ハードディスクドライブの例



CD-ROM ドライブの例



CD-R ドライブの場合



Device Status の欄に「準備ができていません」と表示される場合、CD-ROM、CD-R、リムーバブルディスク等では、メディアが挿入されていない場合、「準備ができていません」と表示されます。これで正常な状態です。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ

ここでは、SCSI コンフィギュレーションユーティリティプログラムの使用方法を説明します。REX-CB32 PC カードの EEPROM に SCSI 構成の設定値を参照および更新します。通常、初期値にてご使用できますが接続する SCSI 機器によっては変更する必要がある場合があります。必ず起動する前に、すべてのプログラムの実行を終了してください。また、SCSI 機器が接続されている場合は、念のために Windows を終了して一時的に SCSI 機器を取り外してください。

通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

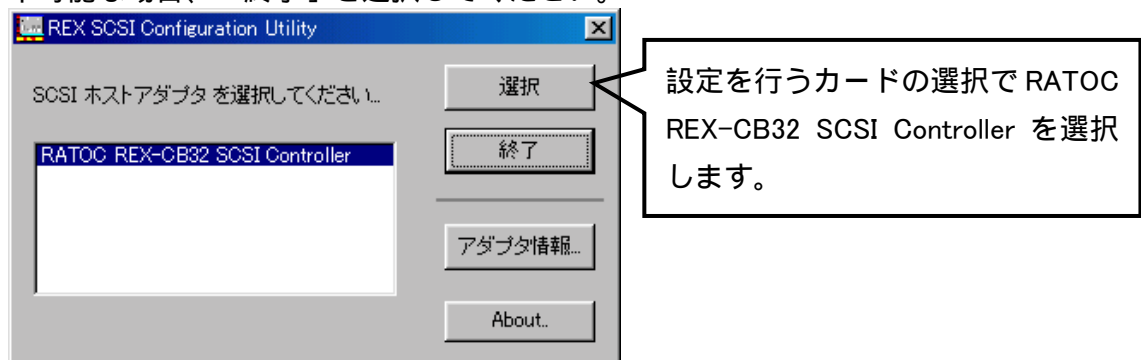
- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の MO ドライブ
(転送速度を 10MB/S に設定が必要)
- ・ 一部の Scanner
(転送速度を非同期に設定が必要)

プログラム起動方法

[スタート] ボタンから [プログラム] [REXSCSI ユーティリティ] [SCSI コンフィギュレーション] を実行します。

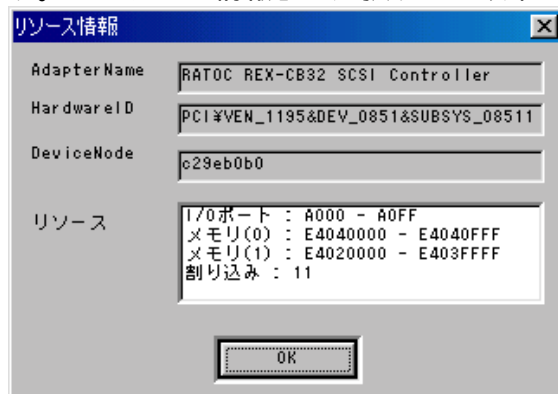
実行中の他のプログラムをすべて終了させてください。

不可能な場合、「終了」を選択してください。



次項のコンフィギュレーション画面にて設定を、参照および更新してください。

設定を終了したら「書きこみ」を押してください。設定値が REX-CB32 に書き込まれます。「アダプタ情報」を選択すると以下のようにリソース情報が表示されます。



コンフィギュレーション画面

「選択」を選択すると次の画面が表示されます。

設定値の書き込みを行います

書き込まずに終了します。

設定値を初期値にします。

【ホスト SCSI ID】

初期値は 7 です。SCSI 機器で 7 以外使用できない場合のみ変更してください。

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0～7 の範囲で設定してください。

【パリティ】

初期値は有効です。パリティチェック機能のない SCSI 機器がある場合、無効にしてください。

【転送速度】 < 40MB/S 、 20MB/S、 10MB/S の切替 >

初期値は 40MB/S です。転送速度は SCSI カードと SCSI 機器の最初のネゴシエーション時に 40MB/S、26.6MB/S、20MB/S と落として可能な速度を決定します。

【同期転送】 < 有効・無効の切替 >

初期値は有効です。非同期の SCSI 機器の場合、無効（非同期）を選択してください。また、動作が安定しないとき無効に設定してみてください。

【ワイド転送】 < 有効・無効の切替 >

初期値は有効です。ワイド転送できない SCSI 機器の場合、自動的にワイド転送モードでなくなります。自動切換えができない場合、無効に設定します。このとき転送速度の数値が半分の値に変更されます。

【ディスコネクト】 < ディスコネクト/リコネクトの切替 >

初期値はすべての ID で有効です。SCSI デバイスを一時的に SCSI バスから切り離すことができます。これによりデバイスを一時的に切り離している間に、SCSI カードがバスの他の機能を高速に実行できることがあります。バスが必要な場合に、デバイスと SCSI カードを再度接続することができます。

SCSI 機器接続時動作が安定しない場合、同期転送無効、ワイド転送無効、ディスコネクト無効の設定にしてみてください。

9. 起動ディスク(DOS)での REX-CB32 使用について

この章では、Windows 98 起動ディスク（フロッピーディスク）または Windows 95 起動ディスク（フロッピーディスク）よりシステム起動して REX-CB32 に接続した SCSI CD-ROM をアクセスする方法について説明します。

SCSI CD-ROM をアクセスできるようになったあと Windows 98/95 の CD-ROM より SETUP.EXE を起動することが可能となり Windows 98/95 のインストールを行えます。

Windows 98 起動ディスクの編集

Windows 98 の起動ディスクより、REX-CB32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 98 の起動ディスクの初期メニューで”Start computer with CD-ROM support”が選択できますが、そのままでは SCSI CD-ROM をアクセスできません。

この CD-ROM は IDE の CD-ROM を示します。SCSI CD-ROM からのインストールの場合以下の手順で編集が必要です。

1. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

変更後：

```
[CD]
device=himem.sys /testmem:off
device=oakcdrom.sys /D:miscd001
device=btosm.sys
device=flashpt.sys
device=btcdrom.sys /D:miscd001
device=aspi2dos.sys           - >   削除
device=aspi8dos.sys           - >   device=CBENABLE.EXE IRQ=A IO=1000
device=aspi4dos.sys           - >   device=ASPCB32.SYS /D
device=aspi8u2.sys            - >   削除
device=aspicd.sys /D:miscd001 - >   device=REXCD.SYS /D:miscd001 /e
```

2. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys を削除します。
3. REX-CB32 の CD-ROM の DOS ディレクトリより CBENABLE.EXE, ASPCB32.SYS, REXCD.SYS を、Windows 98 の起動ディスク(1/2)にコピーします。
4. Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Start computer with CD-ROM support を選択します。
以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

Windows 95 起動ディスクの編集

Windows 95 の起動ディスクより、REX-CB32 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 95 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 95 の起動ディスクのままでは、SCSI CD-ROM をアクセスできません。

1. Windows 95 の起動ディスクの CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

```
DEVICE=HIMEM.SYS
BUFFERS=20
FILES=60
DEVICE=BILING.SYS
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC
DEVICE=JKEYB.SYS
```

変更後：

```
          挿入          ->  DEVICE=CBENABLE.EXE IRQ=A
          挿入          ->  DEVICE=ASPCB32.SYS /D
          挿入          ->  DEVICE=REXCD.SYS /D:OEMCD001 /e
REM DEVICE=SAMPLE.SYS /D:OEMCD001
LASTDRIVE=Z
```

2. Windows 95 の起動ディスクの AUTOEXEC.BAT に次の記述があることを確認してください。

```
@echo off
PROMPT $PSG
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001    (この記述があることを確認)
```

3. Windows 95 の起動ディスクの SAMPLE.SYS を削除します。
4. REX-CB32 の CD-ROM の DOS ディレクトリより CBENABLE.EXE と ASPCB32.SYS と REXCD.SYS を、Windows 95 の起動ディスクにコピーします。
5. Windows 95 の起動ディスクよりシステム起動します。
以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

Drive Image 起動ディスクの編集

Drive Image にて使用する MO (光磁気ディスク) 等を起動ディスクから認識できるようにします。ドライブイメージソフトウェアの起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

CONFIG.SYS の内容は次のようになっています。追加部を書き加えます。

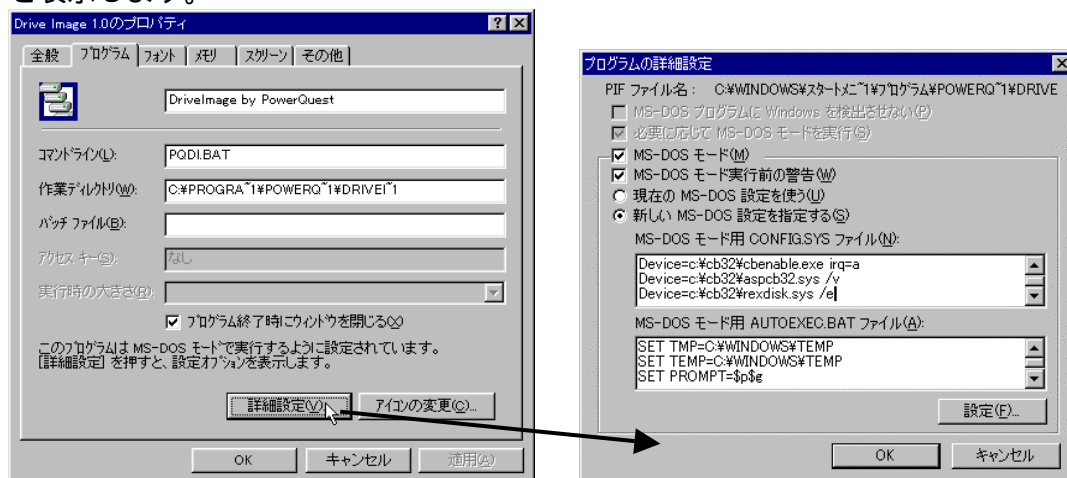
```
LASTDRIVE=Z  
REM Put Network or CD-ROM Drivers here.  
DEVICE=CBENABLE.EXE  IRQ=A          (CardBus Enabler)      追加  
DEVICE=ASPCB32.SYS  /D              (ASPI Manager)       追加  
DEVICE=REXDISK.SYS                (DISK ドライバ)     追加
```

CBENABLE.EXE、ASPCB32.SYS、REXDISK.SYS は、添付の CD-ROM よりコピーしてください。

REXDISK.SYS が実行されると、MO / ハードディスク等にドライブ名を割り当てます。ドライブイメージのリストア時に、このドライブ名を指定します。

Windows 98/95 の Drive Image アイコン起動で、MO 等を認識させるには、以下の場所にある CONFIG.SYS を上記のように修正する必要があります。

[スタート] より右クリックし [開く] を選択し Drive Image のアイコンのプロパティを表示します。



詳細設定を押すと右の画面が出てきますので、新しい MS-DOS 用設定を指定するを選択し MS-DOS モード用 CONFIG.SYS ファイルを編集します。

例のように追加します。

```
DEVICE=CBENABLE.EXE  IRQ=A          (CardBus Enabler)      追加  
DEVICE=ASPCB32.SYS  /D              (ASPI Manager)       追加  
DEVICE=REXDISK.SYS  /e              (DISK ドライバ)     追加
```

CB32 ディレクトリを作成し、CBENABLE.EXE と ASPCB32.SYS と REXDISK.SYS をコピーします。

Drive Image アイコンをクリックするだけで、Drive Image から REXDISK.SYS の割り当てたドライブ名が使用できます。

SCSI CD-ROM を利用する

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。

CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE=CBENABLE.EXE IO=1000 (CardBus Enabler)
DEVICE=ASPCB32.SYS /D (ASPI Manager)
DEVICE=REXCD.SYS /D:PCMCIACD (CD-ROM ドライバ)
```

の 3 行を追加します。

AUTOEXEC.BAT の最終行に、以下の記述を追加します。

```
A:¥DOS¥MSCDEX /D:PCMCIACD (CD-ROM Extension)
```

の 1 行を追加します。

CBENABLE.EXE、ASPCB32.SYS、REXCD.SYS は、本製品添付の CD-ROM よりコピーしてください。MSCDEX は、本製品に添付していませんので OS に含まれるものもしくは CD-ROM ドライブに添付のものを使用します。

REXCD.SYS が実行されると、デバイス名 PCMCIACD を登録します。

MSCDEX.EXE が実行されると、デバイス名 PCMCIACD を探しそのドライブにドライブ名を割り当てます。

AUTOEXEC.BAT の中に既に MSCDEX の記述がある場合がありますのでそこは削除します。

DVD の CD-ROM のみを利用する場合も上記の方法で使用可能です。

SCSI DVD-RAM を利用する

Panasonic DVD LF-100J においては MS-DOS システム上での動作がサポートされていますので以下の方法で使用できます。

CONFIG.SYS に ASPI マネージャの登録を行います。

CONFIG.SYS の最終行に、以下の記述を追加します。

```
DEVICE= CBENABLE.EXE IO=1000 (CardBus Enabler)
DEVICE=ASPCB32.SYS /D (ASPI Manager)
DEVICE=DVDHOOK.EXE (DVD Emulation ドライバ)
DEVICE=MSDRVR.SYS -ot3 -ob -th- -L -o2k (DISK ドライバ)
DEVICE=MCDPD.SYS /D:OEMCD001 /T3 (PD/CD ドライバ)
```

の 5 行を追加します。

CBENABLE.EXE、ASPCB32.SYS は、添付の CD-ROM よりコピーしてください。

DVDHOOK.EXE、MSDRVR.SYS、MCDPD.SYS は、DVD ドライブに添付 (CD-ROM) の DOS 用ドライバからコピーしてください。

MSDRVR.SYS が実行されると、DVD-RAM にドライブ名が割り当てられます。

CBENABLE.EXE のパラメタ

CBENABLE.EXE の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>%CBENABLE.EXE [IRQ] [IO] [MEM] [BUSNO] [I365]
```

オプション

IRQ

使用する REX-CB32の割り込み番号 (IRQ) の指定を行います。

省略時、AH(10番)を仮定します。うまく動作しない場合、空いている番号を手動で設定します。 指定書式：IRQ=A

IO

使用する I/Oポートの指定を行います。未使用のI/Oアドレスを指定します。

省略時、I/Oポートアドレスは、1300Hを仮定します。うまく動作しない場合、手動で空いているI/Oポートアドレスを設定します。 指定書式：IO=1000

MEM

使用するメモリアドレスの指定を行います。未使用のメモリアドレスを指定します。

省略時、未使用のメモリアドレスをサーチし自動的に割り当てますが失敗した場合、メモリアドレスは使用しないを仮定します。 指定書式：MEM=CC00

BUSNO

PCI資源が多くありCard Bus PC CardのPCIBUSを認証できない場合、指定します。

指定書式：BUSNO =4

I365

CardBus BridgeへのアクセスをI/Oポート 3E0で行うモードです。

...UnSupported CardBus Card or CardBus Card not Inserted!! Enable Failedとなる場合に指定してみてください。

ASPCB32.SYS のパラメタ

ASPCB32.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>%ASPCB32.SYS [/L] [/D]
```

オプション

/L LUN(Logical Unit NO)

ロジカルユニット NO の取り扱いを指定します。初期値は LUN=0 のみサーチします。

PD、CD-ROM Changer を使用する場合、/L オプションを付加します。

/D Display (表示)

このオプションを付加すると実行時、各種情報の表示を行います。

表示項目としてI/Oポートアドレス、IRQ、接続機器情報があります。

実行表示例

```
Card Bus Enabler Vx.xx
IRQ=0A IO BASEAddress=1000 MEMORY BASE Address=CC00
Enable Success.

REX Universal ASPI Manager x.xx
ASPI HOST Adapter #0 I/O Port 1000h IRQ 10 SCSI ID 7
SCSI ID #4 TYPE 5 : MATSHITA PD-2 LF-D100 A106
```

REXCD.SYS のパラメタ

ASPIマネージャ対応のDOS上で動作するCD-ROMデバイスドライバです。

REXCD.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/U:1]
[/ScanID:id+id+....] [/NoScanID:id+id+....] [/N:1] [/E] [/HA:0]
```

オプション

/D:<デバイス名>

この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。このデバイス名が「MSCDEX.EXE」の「/D:」オプションに指定するデバイス名になります。

/U:1

接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合の指定です。

CD-ROM ドライブが 1 台だけ接続されていることを前提として動作する CD-ROM ソフト用のオプションです。接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合は、必ずこのオプションを指定してください。

このオプションを省略した場合、SCSI-ID 番号「0」から「6」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブをすべて登録します。

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYSが対象とするCD-ROMドライブのSCSI-ID番号を指定します。

REXCD.SYSは通常SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているCD-ROMドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定のSCSI-IDのみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0と1のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6のSCSI機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXCD.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/N:1

接続する CD-ROM ドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

「REXCD.SYS」は起動時に、ロジカルユニット番号「0」から「7」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブの論理ドライブ数を調べます。ところが、旧型の

第9章 起動ディスク(DOS)での REX-CB32 使用について

CD-ROM ドライブでロジカルユニット番号「0」以外でアクセスするとドライブ側が異常になる場合があります。このような場合には、必ずこのオプションを指定してください。

また、CD-Changer 等ロジカルユニットの指定が必要なドライブの場合にはこのオプションは指定しないでください。

/E

ドライバの表示メッセージを英語にします。
英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

/HA:0

対象とするホストアダプタの番号を指定します。
省略した場合、0 (1 枚目) が仮定されます。

/NoPreFetch

ドライブに対して SCSI の PreFetch コマンドを発行しません。TEAC 製 CD-R ドライブ CD-R824K、CD-R56S を接続する場合、必ず指定してください。

実行時の表示例

```
ASPI マネージャ対応 CD-ROM デバイスドライバ
  REX-CD Ver x.xx  yymmdd
  RATOC System,inc.

CD-ROM SCSI_ID: 6 : MATSHITA PD-2 LF-D100
デバイス名: PCMCIA CD
```

REXDISK.SYS のパラメタ

ASPI マネージャ対応の DOS 上で動作するハードディスク / 光磁気ディスク用デバイスドライバです。

REXDISK.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>¥REXDISK.SYS [/Rn1+n2+n3+...] [/LOCK | /UNLOCK]
  [/A] [/DUMMY] [/REMOVABLE] [/ScanID:id+id+...]
  [/NoScanID:id+id+...] [/Hxx[:id+...]] [/E] [/HA:0]
```

オプション

/Rn1+n2+n3+...

光磁気ディスク(MO)等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。SCSI-ID 番号の若い順に指定します。

また、「0」を指定した場合は、ドライバ起動時の状態によって割り当てるパーティション数が決定します。

メディアが挿入されている	メディアに存在する全パーティション数
メディアが挿入されていない	1パーティションのみ

この記述を省略すると「0」を指定した場合と同じ意味になります。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク(MO)等の取り外し可能なメディア用のドアのロック/アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。

この記述を省略すると「/UNLOCK」を指定した場合と同じ意味になります。

/A メディアのフォーマットが「NEC ハードディスク・フォーマット」と同等の場合に、「スリープ属性」のパーティションもドライブとして認識させる指定です。

/DUMMY

PC-DOS J6.1/V のディスク圧縮機能による不具合を回避するための指定です。

これにより、実際に割り当てるより 1 論理ドライブ余分に論理ドライブを確保します。

ただし、余分に割り当たったドライブにはアクセスできません。

たとえば、接続された機器で 4 ドライブ有効な場合、「/DUMMY」を指定すると以下のようにになります。

A	フロッピー (1.44MB モード)	
B	フロッピー (1.44MB モード)	
C	内蔵ハードディスク	
D	フロッピー (1.2MB モード)	
E	フロッピー (1.2MB モード)	
F	SCSI接続のハードディスク (区画 1)	
G	SCSI接続のハードディスク (区画 2)	
H	SCSI接続のハードディスク (区画 3)	
I	SCSI接続のハードディスク (区画 4)	
J	ディスク圧縮機能との不具合回避用	x
K 以降	ディスク圧縮ドライブ	

/REMOVABLE

光磁気ディスク(MO)が Windows 3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

光磁気ディスク(MO)を「フロッピーディスクのフォーマット」で初期化することはできません。

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク / 光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

REXDISK.SYS は通常 SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているハードディスク / 光磁気ディスクドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定の SCSI-ID のみ検索させることが可能となり、ドライブの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0 と 1 のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6 の SCSI 機器については検索しません。

第9章 起動ディスク(DOS)での REX-CB32 使用について

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5～6 の SCSI 機器については検索しません。

/Hxx[:id+id+....]

このオプションは NEC PC-9821 シリーズ用の各種 SCSI インターフェイスカードを使用して初期化されたディスクを再フォーマットせずに認識させようとした場合に、REXDISK が認識しないときに指定します。

「/H」に続けてフォーマット形式と対象とするドライブの SCSI ID を指定します。

「xx」のフォーマット形式は以下のいずれかを指定します。

指定値	対象フォーマット
92	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-92)によるもの
55	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-55)によるもの
S2	サードパーティ製 (ICM等)SCSIインターフェイスカード
MELCO	サードパーティ製 (MELCO等)SCSIインターフェイスカード
FMO	REXFMT v1.xx でNEC HD形式にフォーマットしたMO

ドライブの SCSI ID を省略した場合は、すべてのドライブが対象になります。

ただし、NEC HD 形式以外でフォーマットされているディスクは対象外になります。

/I NEC PC-98 シリーズで 640MB を使用する場合に指定します。

/NostartStart Unit の SCSI コマンドを発行しない場合に指定します。

/E ドライバの表示メッセージを英語にします。
英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

/HA:0

対象とするホストアダプタの番号を指定します。

省略した場合、0 (1 枚目) が仮定されます。

実行時の表示例

```
ASPI マネージャ対応 ハードディスク・MO デバイスドライバ
REXDISK Ver x.xx yymmdd
Copyright(C) RATOC System,inc.

SCSI ID デバイスタイプ 割り当てドライブ
#1 Hard Disk F: G:
#6 Removable Media(MO) H:
```

10 . トラブルシューティング

REX-CB32 の WindowsMe/98/95 ドライバを完全削除するには

Q:

インストールの途中で、CD-ROM からの読み込みを行わず「完了」を押してしまいました。再度、REX-CB32 を装着しましたが、新しいハードウェアの追加が行われません。

A:

インストールに失敗した場合など REX-CB32 環境を完全に取り除く方法を説明します。以下の 2 つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- INF ファイルの削除

デバイスツリーからの削除

1. コントロールパネルを開きます。
[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。
[システム] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。
[デバイスマネージャ] タグを選択するとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. SCSI PC カードを削除します。
[SCSI コントローラ] の [+] をクリックして [RATOX REX-CB32 SCSI Controller] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。
SCSI コントローラにない場合 [その他のデバイス] の [+] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。
5. SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。

INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ] を開きます。
Windows 95 の場合は、[表示] - [オプション] にて [すべてのファイルを表示] をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない] のチェックを外します。
Windows 98 の場合は、[表示] - [フォルダオプション] の [表示] タブを開いて、[すべてのファイルを表示する] をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない] のチェックを外します。
Windows ME の場合は、[ツール] - [フォルダオプション] の [表示] タブを開いて [すべてのファイルやフォルダを表示する] をチェックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない] のチェックを外します。

第 10 章 トラブルシューティング

2. その後、[適用]ボタン - [OK]ボタンをクリックする。
3. [スタート]ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。
4. [名前(N):] に「RATOCB32.INF」と入力します。
5. [探す場所(L):] に Windows がインストールされているディレクトリ名を指定します。
6. [検索開始(I)] をクリックします。
7. [RATOCB32.INF] が表示されたら、ファイルを開いて REX-CB32 の情報ファイルであることを確認します。そのファイル(RATOCB32.INF)を選択して削除キー (DEL)を押して削除します。通常[Windows¥inf¥other]ディレクトリにあります。

以上でドライバの削除は終了です。

Windows Me でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバを入手したのだが組み込みには？

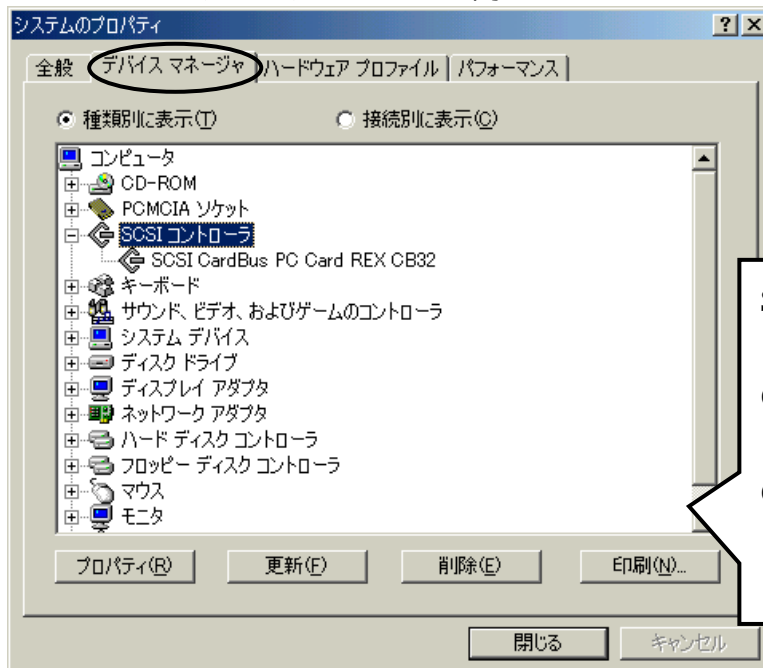
A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-CB32 ドライバがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに CB32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. CB32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. CB32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内の SCSIUT フォルダ以外のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-CB32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

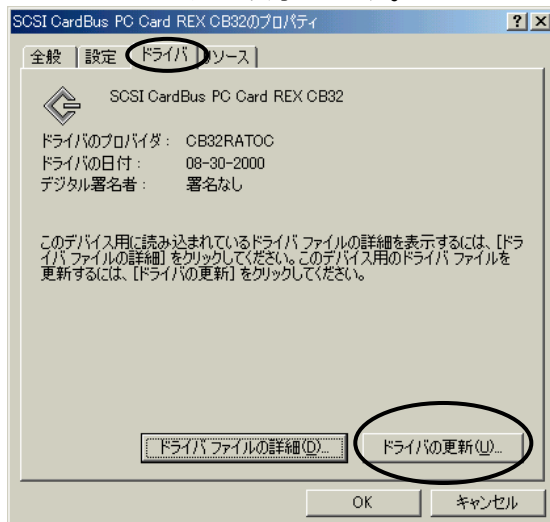
1. コントロールパネルのシステムを開きデバイスマネージャを選択します。



SCSI コントローラをダブルクリックし、「SCSI Card Bus PC Card REX CB32」あるいは、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

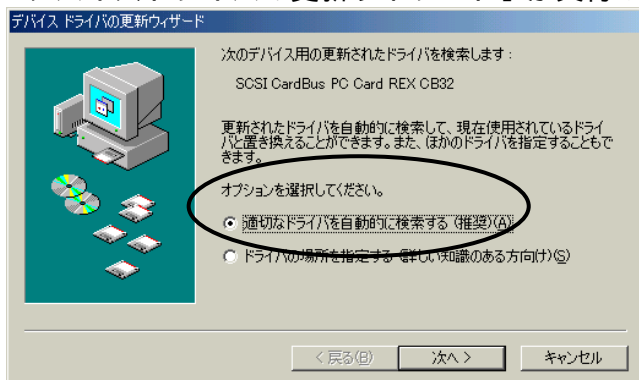
第 10 章 トラブルシューティング

2. ドライバのタグを表示します。



「ドライバの更新」を押します。

3. 「デバイスドライバの更新ウィザード」が実行されます。



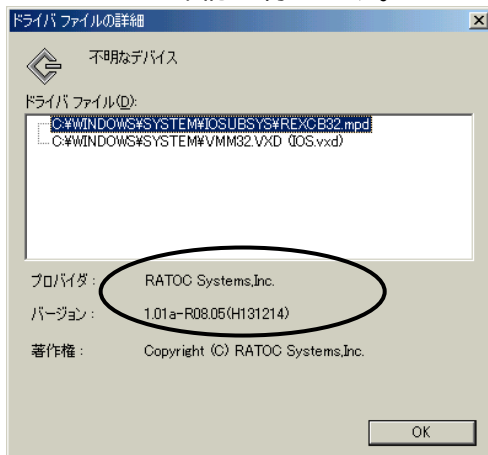
「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選択します。「次へ」を選択します。

4. 完了のメッセージが表示されます。



これで、ドライバは新しくなりました。
Setup Disk を抜いてください。
「完了」を選択します。

5. バージョンの確認を行います。ドライバファイルの詳細を選択します。



バージョンが表示されます。
お問い合わせの際には、このバージョンをお知らせください。

Windows 98 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバを入手したのだが組み込みには？

A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-CB32 ドライバがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに CB32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. CB32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. CB32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内の SCSIUT フォルダ以外のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-CB32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

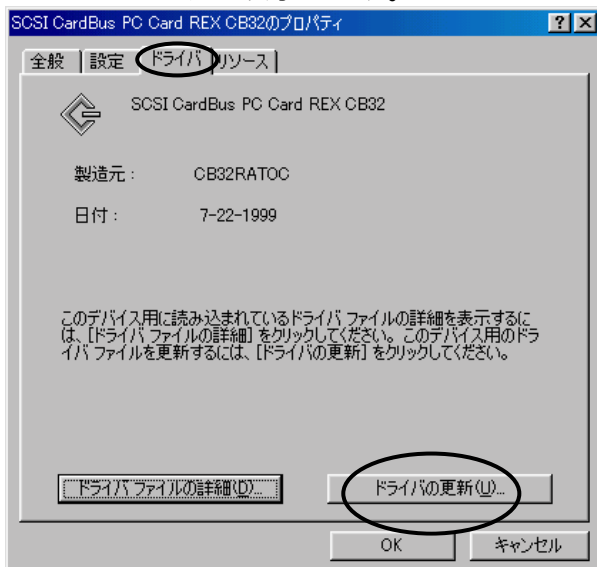
新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きデバイスマネージャを選択します。



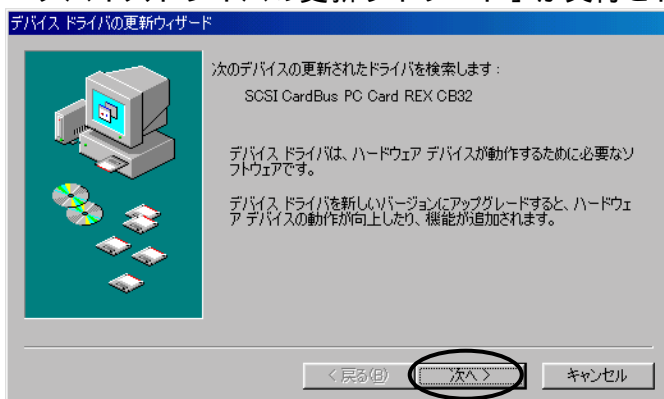
SCSI コントローラをダブルクリックし、「SCSI Card Bus PC Card REX CB32」あるいは、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

2. ドライバのタグを表示します。



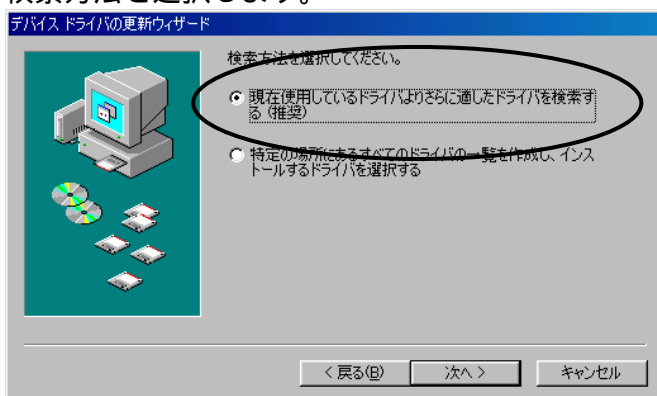
「ドライバの更新」を押します。

3. 「デバイスドライバの更新ウィザード」が実行されます。



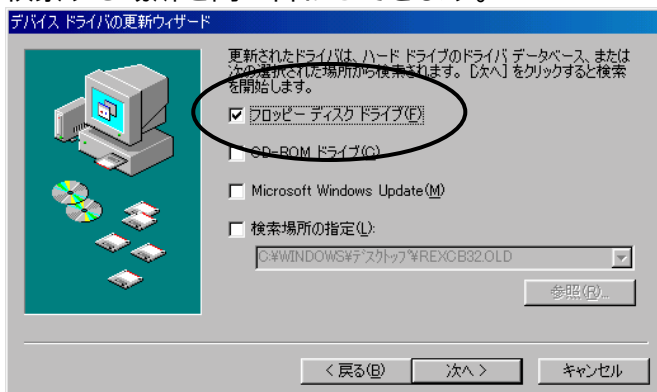
「次へ」を選択します。

4. 検索方法を選択します。



「さらに適したドライバを検索する(推奨)」を選択します。「次へ」を選択します。

5. 検索する場所を問い合わせてきます。



「 フロッピーディスクドライブ」を選択し、先ほど作成した新しい Setup Disk をセットします。「次へ」を選択します。

6. ドライバ発見のメッセージが表示されます。



「次へ」を選択します。

7. 完了のメッセージが表示されます。



これで、ドライバは新しく
なりました。
Setup Disk を抜いてくだ
さい。
「完了」を選択します。

8. バージョンの確認を行います。ドライバの詳細を選択します。



バージョンが表示されます。
お問い合わせの際には、このバ
ージョンをお知らせください。

Windows 95 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバを入手したのだが組み込みには？

A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-CB32 ドライバがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに CB32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. CB32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. CB32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内の SCSIUT フォルダ以外のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-CB32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

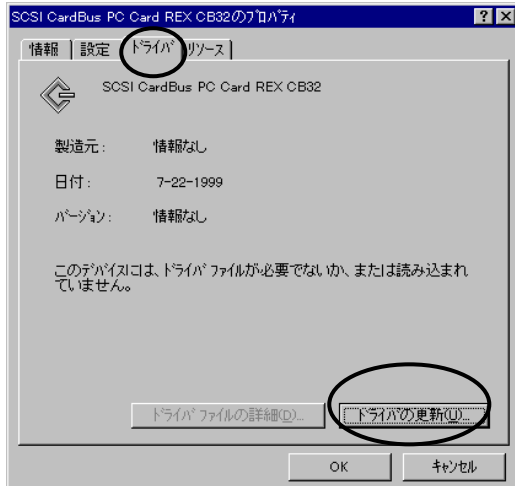
新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムのデバイスマネージャを開きます。



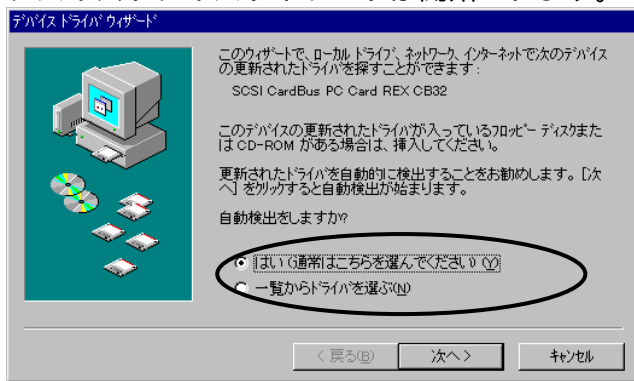
SCSI コントローラをダブルクリックし、「SCSI Card Bus PC Card REX CB32」あるいは、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

2. ドライバのタグを表示します。



「ドライバの更新」を押します。

3. デバイスドライバウィザードが開始されます。



新しい Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットして、「自動検出をする」を選択します。
「次へ」を選択します。

4. ドライバ発見のメッセージが表示されます。



「このデバイスの更新されたドライバが見つかりました。」の表示を確認して、「完了」を押します

5. 以下の画面が表示される場合があります。



「OK」を押します

6. ファイルのコピー元を入力する画面になります。



フロッピーディスクドライブを選択します。「OK」を押します。コピーが開始され、ドライバの更新が完了します。Setup Disk を抜いてください。

REX-CB32 の WindowsXP/2000 ドライバを完全削除するには

Q:

インストールの途中で、CD-ROM からの読み込みを行わず「完了」を押してしまいました。再度、REX-CB32 を装着しましたが、新しいハードウェアの追加が行われません。

A:

インストールに失敗した場合など REX-CB32 環境を完全に取り除く方法を説明します。以下の 2 つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- INF ファイルの削除

デバイスツリーからの削除

1. デバイスマネージャを開きます。
2. SCSI PC カードを削除します。
[SCSI と RAID コントローラ] の [+] をクリックして [RATOX REX-CB32 SCSI Controller] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。
SCSI コントローラにない場合 [その他のデバイス] の [+] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。
3. SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。

INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ] を開きます。
[ツール] - [フォルダオプション] の [表示] タブを開いて [すべてのファイルとフォルダを表示する] をチェックし、 [登録されているファイルの拡張子は表示しない] のチェックを外します。
2. エクスプローラから INF フォルダ (Windows 2000 の場合は、C:¥WINNT¥INF、Windows XP の場合は、C:¥Windows¥INF にあります) を開きます。
3. oemX.inf ファイル (X は数字) を検索し、メモ帳などでそれぞれの oemX.inf ファイルを開いて、その内容に CB32 の記述があるもののみを削除します。
また、削除した oemX.inf と拡張子のみがことなる oemX.PNF ファイルも削除してください。

以上でドライバの削除は終了です。

Windows XP でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバを入手したのだが組み込みには？

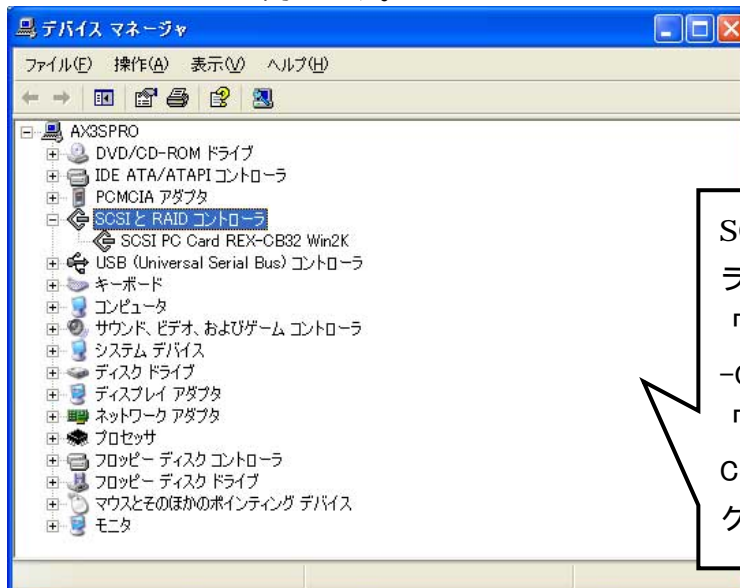
A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-CB32 ドライバがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに CB32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. CB32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. CB32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内の SCSIUT フォルダ以外のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-CB32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. デバイスマネージャを開きます。

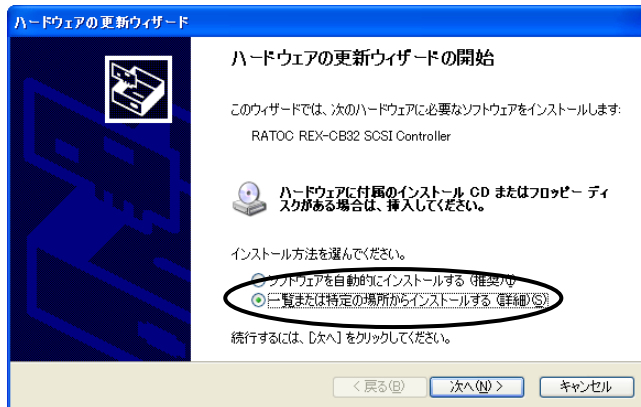


SCSI と RAID コントローラをダブルクリックし、「SCSI PC Card REX-CB32 Win2K」あるいは、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」をダブルクリックします。

2. ドライバのタグを表示します。



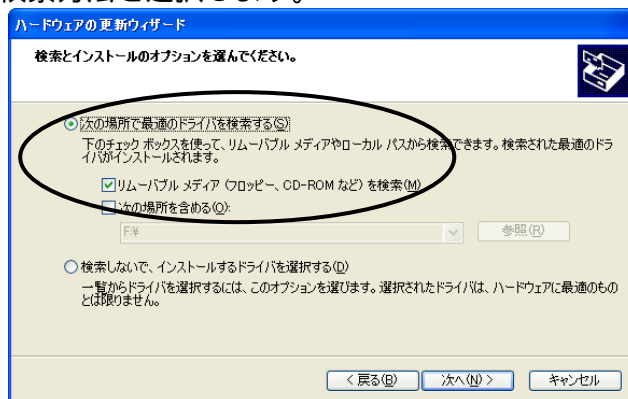
3. 「ハードウェアの更新ウィザード」が起動します。



新しい Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットして、「自動検一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択します。

「次へ」を選択します。

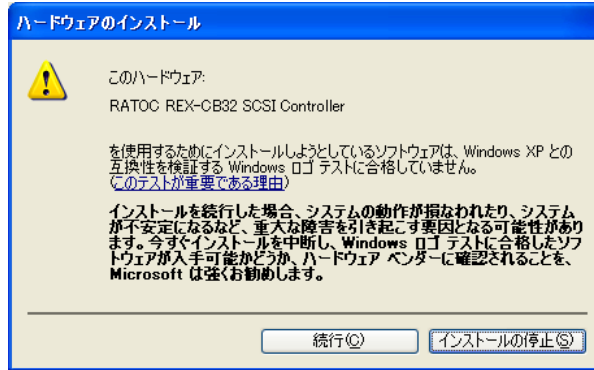
4. 検索方法を選択します。



「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索」を選択します。

「次へ」を選択します。

5. 次のような警告メッセージが表示されます。



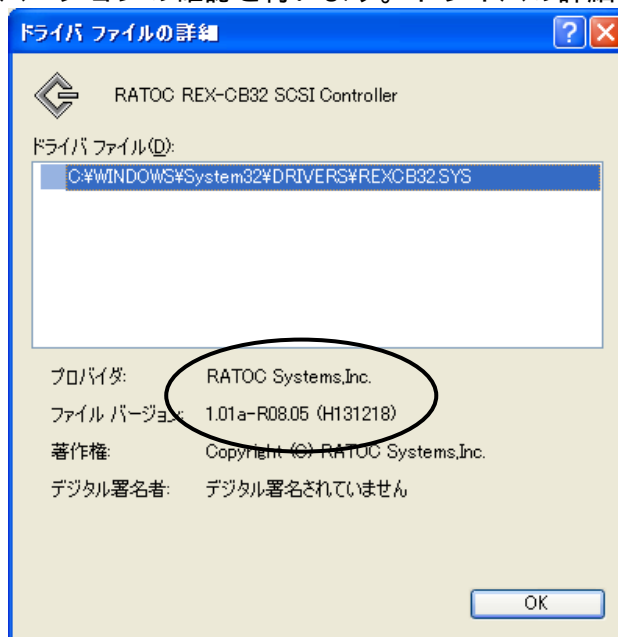
「続行」を選択します。

6. 完了のメッセージが表示されます。



これで、ドライバは新しくなりました。
Setup Disk を抜いてください。
「完了」を選択します。

7. バージョンの確認を行います。ドライバの詳細を選択します。



バージョンが表示されます。
お問い合わせの際には、このバージョンをお知らせください。

Windows 2000 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバを入手したのだが組み込みには？

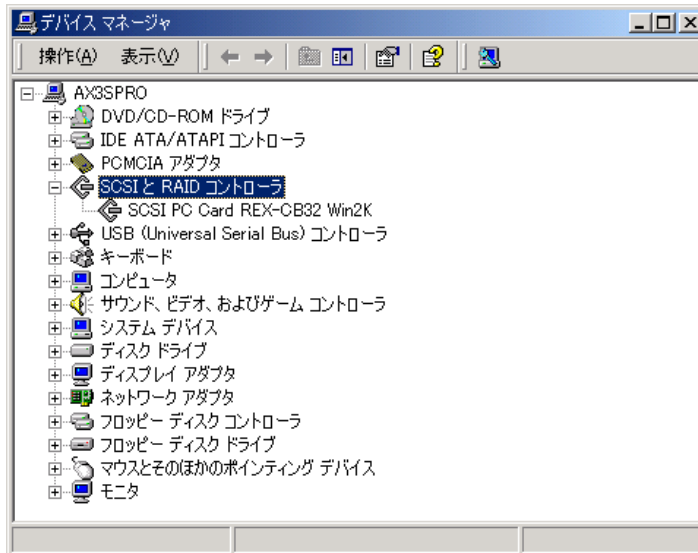
A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-CB32 ドライバがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに CB32_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. CB32_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. CB32_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。DOWNLOAD ディレクトリ内の SCSIUT フォルダ以外のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-CB32 Setup Disk xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

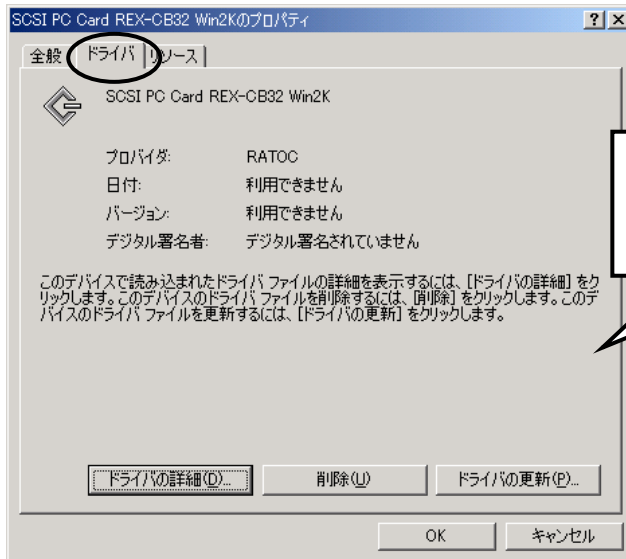
新しいバージョンの Setup Disk が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. デバイスマネージャを開きます。



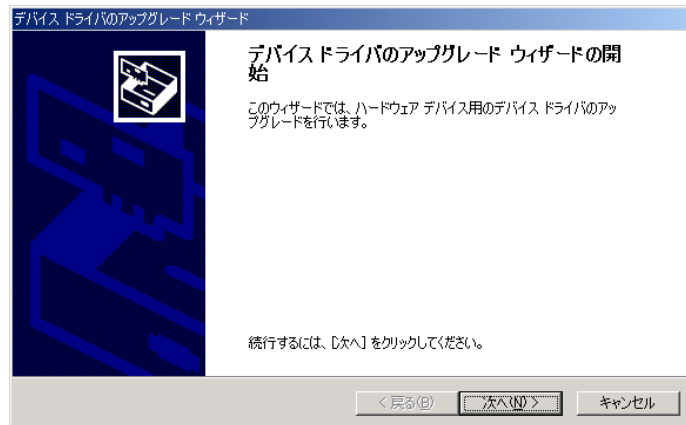
SCSI と RAID コントローラをダブルクリックし、「SCSI PC Card REX-CB32 Win2K」あるいは、「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」をダブルクリックします。

2. ドライバのタグを表示します。



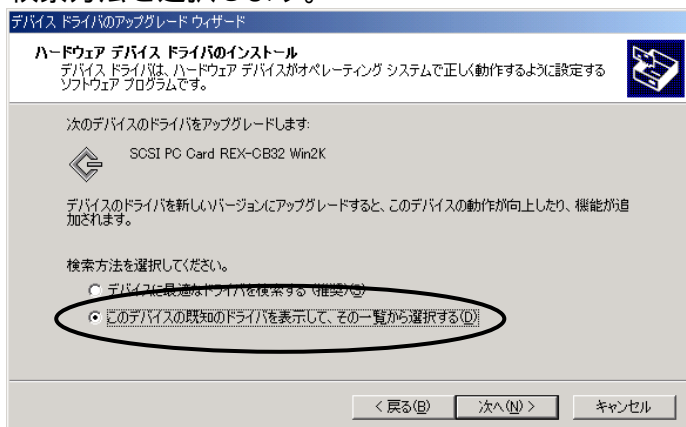
「ドライバの更新」を押します。

3. 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します。



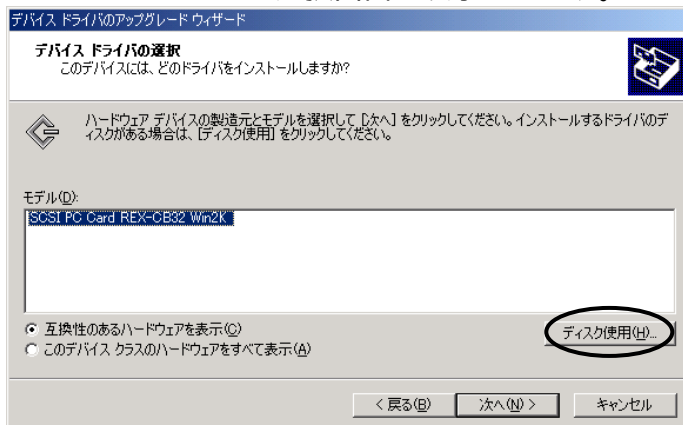
新しい Setup Disk をフロッピーディスクドライブにセットして、「次へ」を選択します。

4. 検索方法を選択します。



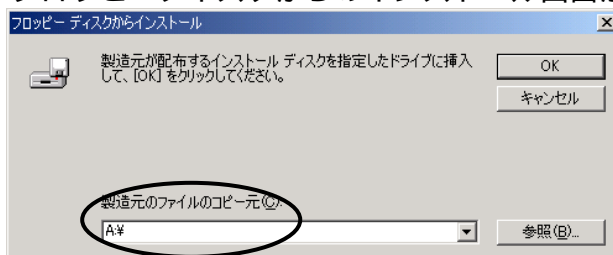
「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択します。「次へ」を選択します。

5. デバイスドライバの選択画面が表示されます。



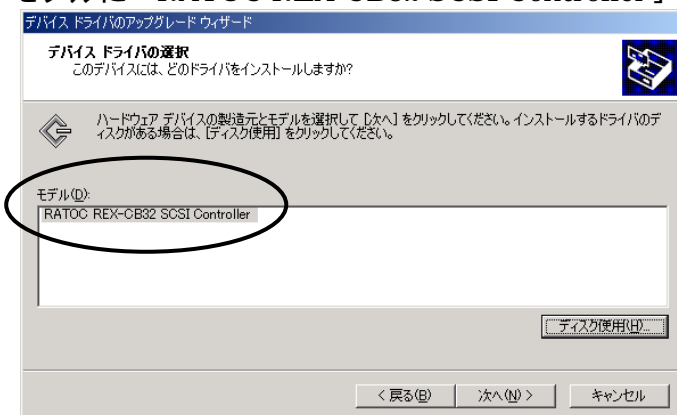
「ディスク使用」を選択します。

6. フロッピーディスクからのインストール画面が表示されます。



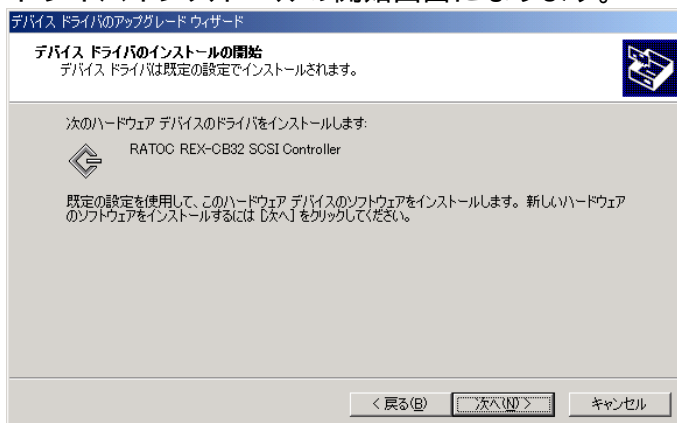
「A:¥」と入力します。

7. モデルに「RATOC REX-CB32 SCSI Controller」と表示されます。



「次へ」を選択します。

8. ドライバインストールの開始画面になります。



「次へ」を選択します。

9. 次のような警告メッセージが表示されます。



「はい」を選択します。

10. 完了のメッセージが表示されます。



これで、ドライバは新しくなりました。
Setup Disk を抜いてください。
「完了」を選択します。

11. バージョンの確認を行います。ドライバの詳細を選択します。



バージョンが表示されます。
お問い合わせの際には、このバージョンをお知らせください。

TOSHIBA 製ノートパソコンの場合

Q:

CardBus 対応でない PC カード (16bit カード) は使用できるが、Card Bus カードは認識しないため使用できません。

A:

TOSHIBA 製ノートパソコンの場合、BIOS-SystemSetup の PC Card Controller Mode を「PCMCIA Compatible」から「Card Bus / 16Bit」に変更してください。

1. Windows を終了してパソコンの電源を切ります。
2. パソコンの電源を入れて再起動します。
3. 再起動が開始したら [ESC] キーを押します。
4. 「Check system. Then press[F1] key.」と表示されたら、[F1]キーを押します。
5. BIOS-SystemSetup(1/2)が表示されたら、PC Card Controller Mode の項目を [CardBus / 16-bit]へ変更します。
6. [End]キーを押して、変更内容を更新して SystemSetup を抜けるとパソコンが再起動します。

FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q:

FUJITSU MO を採用している古い MO ドライブを接続するとハングアップします。

A:

FUJITSU MO を採用している比較的古い一部の MO ドライブでこのような現象が発生することがあります。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティにて、転送方式を 10MB/s に設定してください。

1. REX-CB32 に接続してある SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションユーティリティを起動します。
3. FUJITSU MO に該当する SCSI ID の転送速度を 10MB/S に設定します。
4. OK を押して設定値を書き込みます。
5. SCSI 機器の電源を入れパソコンを再起動します。

ドライブが割り当たらない場合

Q1:

PC-9821 で使用していたハードディスクを DOS/V または PC98-NX に接続して使用できません。

Q2:

フォーマットユーティリティで再フォーマットを行ったが、ドライブ(ドライブ名)が割り当てられません。どのようにすれば使用できるのでしょうか。

A:

DOS/V パソコンでは、PC-9821 形式のハードディスクは扱えません。ハードディスクのフォーマットが必要です。また、初期化を行ったあと、パーティションの作成(区画作成)を行ってください。

その他のデバイスに ? PCMCIA Card Services がある場合

Q:

「その他のデバイス」のカテゴリ中に「? PCMCIA Card Services」または「? PCMCIA カードサービス」という項目が表示されます。
問題ないのでしょうか。

A:

? マークはエラーではありません。
Card Bus 対応でない PC カードを挿入すると「その他のデバイス」に現れます。
この項目を削除しないでください。誤って削除した場合、PC カードを使用できなくなります。

その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。
ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。本製品添付の Setup Disk をセットしドライバの場所を選択してインストールします。

その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI Brige を選択し、削除キーを押してください。
システム再起動により “新しいハードウェア” の画面が表示されます。
後は、本文の記述に従ってインストールしてください。

PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合

Q:

ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示しようとしても画面がありません。

A:

PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。
[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンストモード]を実行してください。
また、レジストリエディタを起動する場合も同様です。

UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合

Q:

Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続確認ユーティリティで確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A:

適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返せば、「SCSI-3」と表示されます。

不明なデバイスが検出されると表示の場合

Q:

スキャナを接続して REX-CB32 をインストールすると「不明なデバイスが検出されました」と表示してドライバの読み込みが行われません。

A:

「不明なデバイスが検出されました」の表示は REX-CB32 に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。スキャナに Windows のドライバ(INF)が添付されている場合は、デバイスドライバウィザードで読み込ませてください。添付されていない場合は、「完了」を押してください。次回からこのメッセージは表示されなくなります。詳しくは、スキャナメーカーにお問い合わせください。

フォーマットユーティリティで CDR,CDRW,DVD が認識されない

Q:

SCSI フォーマットユーティリティにて、接続されている CD-R,CDRW,DVD を認識できません。SCSI 機器接続確認ユーティリティでは確認できるのですが。

A:

SCSI フォーマットユーティリティは、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを対象としています。CD-ROM、CD-R、CDRW,DVD は対象としていません。初期化が必要な場合、ドライブメーカーにお問い合わせください。

SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される

Q:

SCSI 機器接続確認ユーティリティにて、接続されている CD-R,CDRW,MO 等を確認すると、Device Status の欄に「ドライブの準備ができていません」と表示されます。

A:

CD-ROM、CD-R、MO 等の場合、メディアが挿入されていないときには、「ドライブの準備ができていません」と表示されます。これで正常です。メディアを装着してください。

Windows 98/95 が終了できない場合

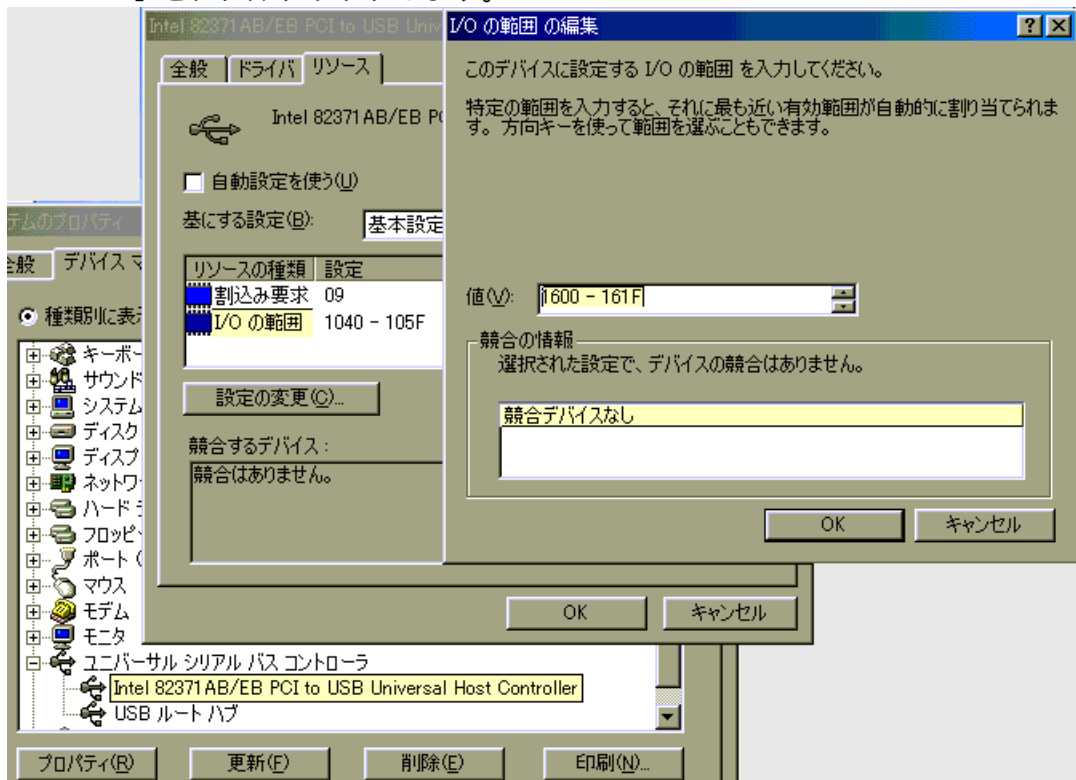
Q:

USB ポートを搭載したパソコンで PC カードを装着している場合に、Windows98/95 の終了を行っても、終了画面のまま止まってしまいます。

A:

高速シャットダウンを無効にしてください。方法については Windows 98 のヘルプを参照してください。それで有効にならなければ、USB のリソースを変更してください。

1. REX-CB32 を装着していない状態でパソコンを起動します。
(REX-CB32 のインストールをして実際にパソコンの電源を切れなくなった場合、パソコン起動時、セーフモード (SafeMode) で起動します。)
SafeMode の起動方法は、Starting Windows 98 と表示されたとき F8 キーを押します。Windows 98 起動メニューが表示されますので、SafeMode を選択します。
2. 「マイコンピュータ」-「コントロール パネル」-「システム」-「デバイスマネージャ」を開きます。
3. 「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」-「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller」をダブルクリックします。



4. リソースをクリックします。
5. 「自動設定を使う」をクリックしてチェックを外します。
6. 「I/O の範囲」をクリックし、「設定の変更」をクリックします。
7. 「値」欄の横にある上下ボタンを使用して、1600 より大きな値に変更してください。
[OK] ボタンをクリックして、警告メッセージが表示されたらそのまま [OK] ボタンを再度クリックしてシステムの再起動をしてください。

11. SCSI仕様について

この章では、SCSI に関する補足説明を行います。

接続できる台数とケーブルの長さ

SCSI ディジーチェーン接続して使用する場合、REX-CB32 に添付してあるケーブルのインピーダンス特性と一致したものを使用する必要があります。

インピーダンスが、90 Ω タイプの SCSI ケーブルをご使用ください。

SCSI 機器は理論上 15 台まで接続可能です。ただし、Wide に対応していない機器は 7 台までです。

SCSI 機器が、Ultra Wide および Ultra SCSI 対応か FAST SCSI 対応かによって接続できる SCSI 機器の台数と接続に使用する SCSI インターフェイスクーブルの長さの合計が異なります。

以下に表記してある長さは、SCSI 機器の内部配線および内蔵ケーブルを含みます。

UltraWide および Ultra SCSI 機器が 1 台でもある場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 3 台	3 メートル以下
4 ~ 15 台	1.5 メートル以下

すべて FAST SCSI 機器の場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 7 台	3 メートル以下

上記の記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器や SCSI ケーブルの性能に影響されます。

また、SCSI 変換コネクタを使用すると SCSI バスの状態が悪くなる場合があるため、SCSI 変換コネクタでの接続はお勧めしません。

接続可能な SCSI 機器のタームパワー供給能力について

SCSIの規格ではタームパワー供給(ターミネータへの電源供給)は最大800mA供給可能で、途中に1Aのヒューズを入れることと定められています。REX-CB32はPCカードという形状の制限により、この基準を満たすことができません。したがってREX-CB32からはターミネータへの電源供給は行いませんので、必ず接続するSCSI機器から供給するようにしてください。たいていのSCSI機器にはターミネータへの電源供給の有無を設定するためのスイッチ類が設けられていますので、SCSI機器添付のマニュアルに従って設定してください。

ターミネータへの電源供給機能の確認方法については、後述の「SCSI機器のターミネータ電源供給の確認方法」をご覧ください。

例外としてzipドライブでは、タームパワーは出力されていませんが、本製品へ接続しても問題ありません。

SCSI 機器のターミネータ電源供給の確認方法

REX-CB32 は PC Card Standard の規格上、SCSI バス上にターミネータ用の電源出力を供給することができませんので必ず外部の SCSI 機器から供給することが必要です。SCSI 機器から供給されているかどうかはテストで簡単に調べることができます。

SCSI 機器から SCSI ケーブルを外し、

SCSI 機器が 50 ピンの場合、コネクタの 38 番(TP)と 25 番(GND)の間の電圧を測定してください (SCSI 機器の電源は ON にしておいてください。)。38 番側に+5V 前後出力されていれば正常です。

SCSI 機器が 68 ピンの場合、コネクタの 51 番(TP)と 25 番(GND)の間の電圧を測定してください (SCSI 機器の電源は ON にしておいてください。)。51 番側に+5V 前後出力されていれば正常です。

+5V 前後出力されていない場合は SCSI 機器からターミネータ用電源は供給されていないので単独では REX-CB32 と組み合わせて使用することはできません。

SCSI PC カードの仕様

SCSI PCカード	PC Card Standard 準拠 Card Bus (TypeII)
SCSI インターフェイス	Ultra Wide SCSI およびUltraSCSI シングルエンド データバス幅 16ビット および 8ビット
転送方式	同期転送および非同期転送をサポート
SCAM機能	なし
電源電圧・消費電流	+3.3V(CardBusスロットより供給)、 SCSIバスへのTerm Powerは供給しません。 150mA (TYP) -- R/W時 100mA (TYP) -- アイドル時 41mA (TYP) -- パワーセーブ時
タームパワー供給機能	なし
ターミネータ	アクティブターミネータ内蔵
割り込み	Card Bus Controllerによって割り当てられる IRQを使用
選択可能 I/Oアドレス	xx00h ~ xxFFh (占有バイト数 100h)
動作保証温度	0 ~ 55 (結露しないこと)
保存保証温度	-20 ~ 70 (結露しないこと)

記入例：RATOC REX-CB32 質問用紙（拡大コピーの上ご記入ください）

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名	ラトックシステム株式会社			
	所属・部署				
氏名	ラトック 太郎				
住所	〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル				
TEL	06-6633-8263	FAX	06-6633-8295	E-Mail	xxx@rexpccard.co.jp
製品型番	REX-CB32	シリアル番号	CB32xxxxx		
販売店名			購入年月日		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	TOSHIBA Satelltite 220CS		
使用 OS	Windows 95B	Windows 98	Windows Me
	Windows 2000	Windows XP	DOS
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。 拡張 PC カード: Slot 2 REX-R280 通常 上段が Slot 2 Slot 1 REX-CB32 ドライバのバージョン REXCB3X.SYS ファイルのプロパティ 2.6.2-R04 (1998 6 17 06:38:42) SCSI 構成: WINSCC で表示される ID:0,LUN:0 (HardDisk) IBM DDRS-34330 ID:6,LUN:0 (CD-R) YAMAHA CRW4260		

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT
 デバイスマネージャのシステム概要 ¹

1 デバイスマネージャのシステム概要（Windows Me/98/95 の場合）

- (1) デバイスマネージャから[印刷]ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

1 デバイスマネージャのシステム概要（Windows XP/2000 の場合）

デバイスマネージャからタスクバーの[操作]メニューあるいは[表示]メニューから[すべてのデバイスとシステムの概要]にチェックを入れ [印刷] ボタンを押します。

RATOC REX-CB32 質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名				
	所属・部署				
氏名					
住所	〒				
TEL		FAX		E-Mail	
製品型番		シリアル番号			
販売店名				購入年月日	

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名			
使用 OS	Windows 95B	Windows 98	Windows Me
	Windows 2000	Windows XP	DOS
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。		

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT
 デバイスマネージャのシステム概要 ¹

¹ デバイスマネージャのシステム概要 (Windows Me/98/95 の場合)

- (3) デバイスマネージャから[印刷]ボタンを押します。
- (4) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

¹ デバイスマネージャのシステム概要 (Windows XP/2000 の場合)

- (1) デバイスマネージャからタスクバーの[操作]メニューあるいは[表示]メニューから[すべてのデバイスとシステムの概要]にチェックを入れ [印刷] ボタンを押します。

